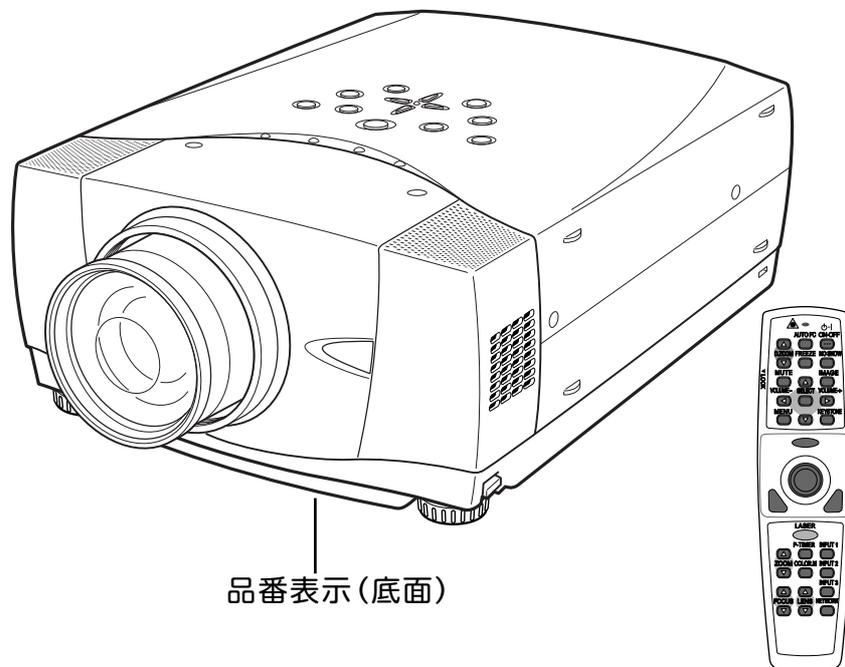


液晶プロジェクター 品番 LP-XP55 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～9ページの「安全
上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつ
でも取り出せるところに必ず保管してください。わ
からないことがあったときなどにお役に立ちます。

お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示(底面)

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XP55 の特長

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応、SXGAにも圧縮対応

ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン付き

- プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができ、さらにプレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能が付いたワイヤレスリモコンを付属。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの種類の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「オートPCアジャスト」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータモード時)
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン(台形補正)」機能。上下と左右の補正により設置範囲が拡大。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER(プレゼンテーションタイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

コンポーネント映像入力端子を装備

- DVDやHDTVなどを高画質で再生。

DVI-D(デジタルインターフェイス)搭載

- デジタルビジュアルインターフェイス(DVI)の採用により、コンピュータの画像をより鮮明に再生します。

プログレッシブスキャン

- プログレッシブスキャンの採用により、ビデオ映像やHDTV信号をより高画質に投映します。

レンズの交換が可能

- 別売オプションレンズとの交換により、ご使用場所に合わせた投映が可能。

電動レンズシフト機能搭載

- ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面の位置決めを容易にします。

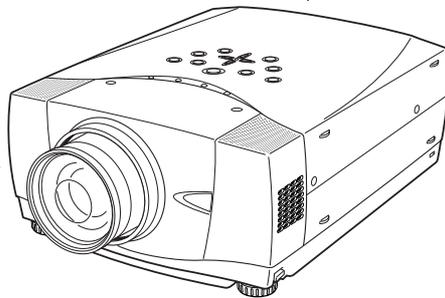
天吊り、据置、リア投映など、さまざまな設置方法に対応

ファン動作音が気にならない静音と省電力を実現するエコモードを搭載。

別売のPJ-Net Organizer(PJネット・オーガナイザー)を装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。

満足の明るさと高精細大画面

- 約236万画素の高精細映像でXGAコンピュータ画面をリアル投映。
- 300W NSHランプの採用により、高輝度化を実現。
- 31~400型の大画面。



充実のコンピュータ/ビデオ入力端子

- コンピュータ入力に、DVI-D端子(デジタル)およびD-sub端子(アナログ)を装備。
- ビデオ入力端子には、コンポーネント映像、S映像、コンポジット映像を装備。
- その他に、USB端子、コントロールポート端子、音声入出力端子を装備。



設置調整を容易にする機構設計

- 画像位置の調整を容易にする上下電動レンズシフト機能を搭載
- 持ち運びに便利なキャリングハンドルと傾き調整を容易にする調整脚を装備
- 小型・軽量 9.2 Kg

ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン

- プロジェクターおよびプロジェクターに接続したコンピュータの遠隔操作が可能
- プロジェクターに接続したコンピュータのマウス操作が可能。
- プレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能とP-TIMER(プレゼンテーションタイマー)機能。

目次

安全上のご注意 4

準備 10

- 付属品を確認してください・・・10
- 本体各部のなまえ・・・11
- 設置のしかた・・・12
- リモコンの準備・・・15
- 電源コードを接続する・・・16

接続 17

- 機器をつなぐ端子・・・17
- コンピュータを接続する・・・18
- ビデオ機器を接続する・・・19

操作の前に 20

- リモコンのボタン・・・20
- 本体操作パネルのボタン・・・22
- オンスクリーンメニューの操作方法・・・23

基本操作 25

- 電源を入れ画面を投射する・・・25
- 電源を切る・・・26
- 投射画面を調整する・・・27
- 音量を調節する・一時的に消音する・・・29
- 画面を一時的に静止させる・・・30
- 画面を一時的に消す・・・30
- プレゼン時に経過時間を表示する・・・30
- レーザーポインタを使用する・・・31

コンピュータ入力 32

- コンピュータ入力に切り換える・・・32
- コンピュータシステムの選択・・・33
- コンピュータシステムの調整・・・34
- イメージモードの選択・・・37
- 適切な画像サイズに調整する・・・38

ビデオ入力 39

- ビデオ入力に切り換える・・・39
- カラーシステムや走査方式を選択する・・・40
- イメージモードの選択・・・41
- 画面のサイズを選択する・・・42

イメージ調整 43

- マニュアルでイメージ調整を行なう・・・43

各種セッティング 46

付録 51

- リモコンでコンピュータを操作する・・・51
- 光源ランプの交換・・・52
- ランプについての安全上のご注意・・・53
- お手入れについて・・・54
- 内部の温度上昇について・・・56
- インジケータ表示とプロジェクターの状態・・・57
- 故障かなと思ったら・・・58
- コンピュータシステムモード一覧・・・59
- メニュー内容一覧・・・61
- 仕様・・・63
- 別売品・・・64
- 端子の仕様・・・65

お客さまご相談窓口 66

保証とアフターサービス 裏表紙

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

警告

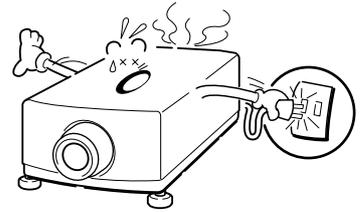
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



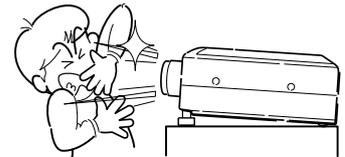
電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因となります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射 クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Ann.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVELENGTH (波長) : 650±20nm



警告



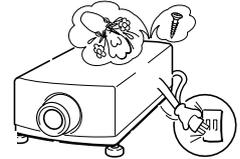
- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



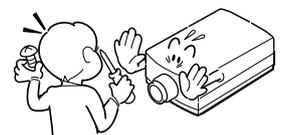
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



警告

- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



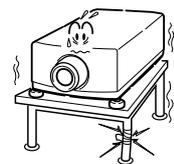
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



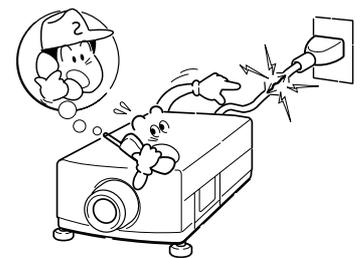
禁止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁止

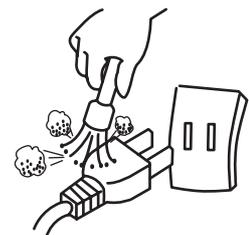


- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）



警告

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



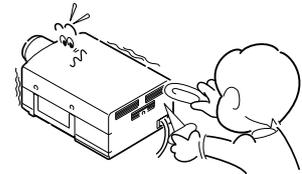
接触禁止



- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。(詳しくは、16ページをご覧ください。)



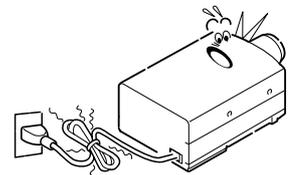
アース線を接続する

注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となる可能性があります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



⚠ 注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



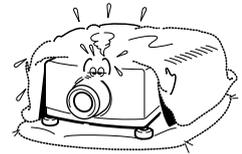
禁止



- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



設置のときは、ファンの排気口を壁から 1メートル以上空けてください。

空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。

次のような使い方はしないでください。

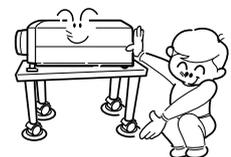
- * 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから 1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



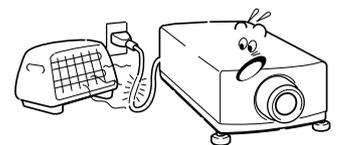
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



⚠ 注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



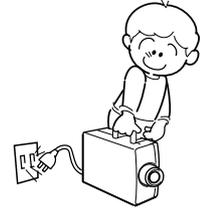
ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



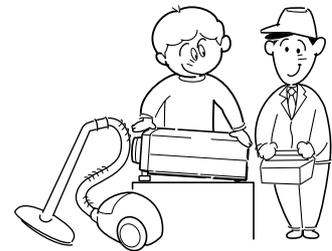
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶとき、レンズの保護のためにレンズカバーをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用して持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

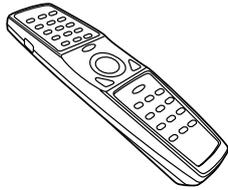
● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

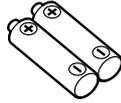
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

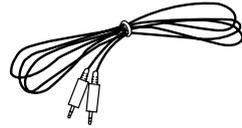
1 リモコン



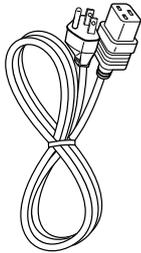
2 リモコン用アルカリ乾電池
(単三型2本)



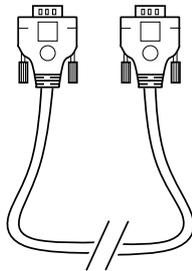
3 リモコン接続コード



4 電源コード



5 コンピュータ接続ケーブル



6 マウスコントロールケーブル



7 USBケーブル



8 レンズカバー



9 ダストカバー



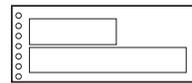
10 取扱説明書 (本書)



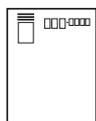
11 レンズ交換・
取付作業手順書



12 保証書



13 ユーザー
登録カード (はがき)



本体各部のなまえ

スピーカー

レンズ

レンズカバー
本機をお使いにならないときはホコリやキズからレンズを守るためレンズカバーをはめてください。
レンズカバーを外すときは、レンズカバーの両端を持って手前に引いて外します。

調整脚
脚を回して画面の高さと左右の傾きを調整します。

操作パネル
ボタンの名称とはたらきは22ページをごらんください。

吸気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

リモコン受信部-1
リモコン受信部は後面にもあります。

! ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

! ランプ点灯中はレンズカバーをかならず外してください。レンズカバーを付けたまま点灯すると、レンズカバーの変形および火災の原因となります。

排気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

ランプカバー

電源コード接続ソケット
電源コードを接続します。

後面端子
端子の名称とはたらきは17ページをごらんください。

リモコン受信部-2
リモコン受信部は前面にもあります。

吸気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

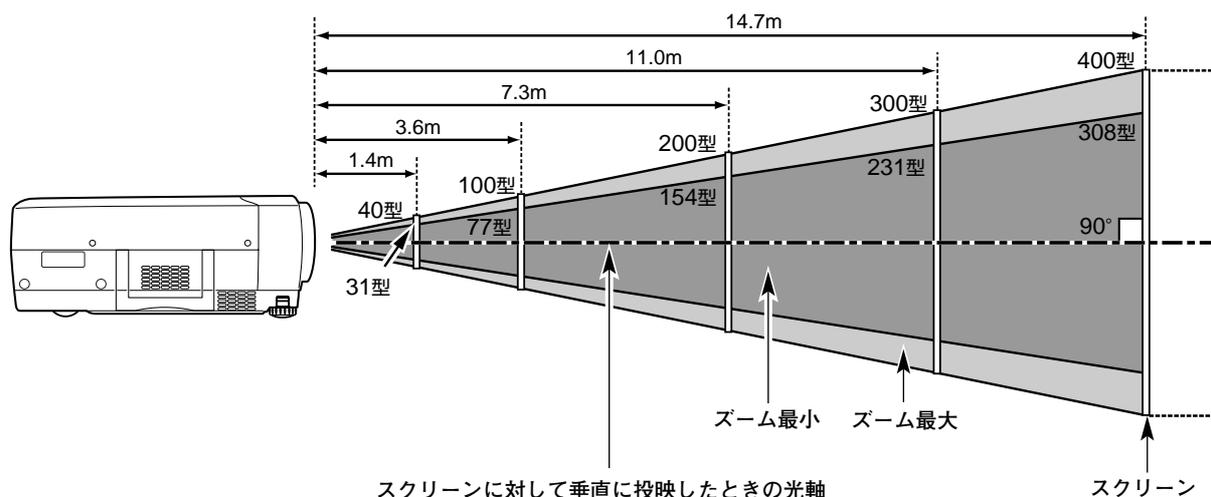
キャリングハンドル

PJ ネット・オーガナイザー取付部
プロジェクターに別売の PJ-Net Organizer を取り付けるとき、この部品を外して取り付けます。詳しくは別売の PJ-Net Organizer の取扱説明書を参照ください。

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離を約 1.4m~14.7m の範囲に設置してください。



画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	40型	60型	100型	150型	200型	300型	400型
	813 x 610	1219 x 914	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572	8128 x 6096
投射距離 (ズーム最小)	1.8 m	2.8 m	4.7 m	7.1 m	9.5 m	14.2 m	—
投射距離 (ズーム最大)	1.4 m	2.1 m	3.6 m	5.5 m	7.3 m	11.0 m	14.7 m

※上表は 4 : 3 の画面サイズで、投映画像の内容により画面サイズが異なります。(38、42 ページ参照)

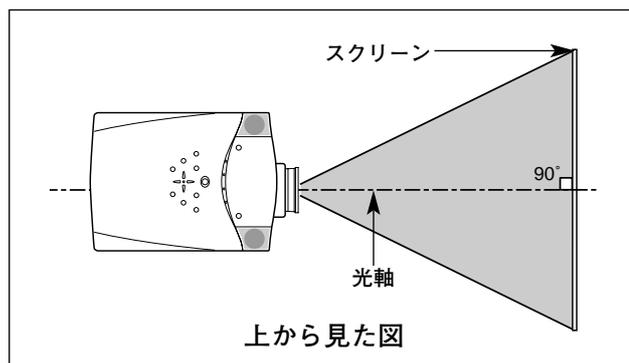
※表の画面サイズは標準的なもので、実際のサイズと異なります。

※スクリーンは太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい場合画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落として下さい。

※レンズシフトと調整脚の調整位置により、投映画面の上下の位置は変わります。(13、27、28 ページ参照)

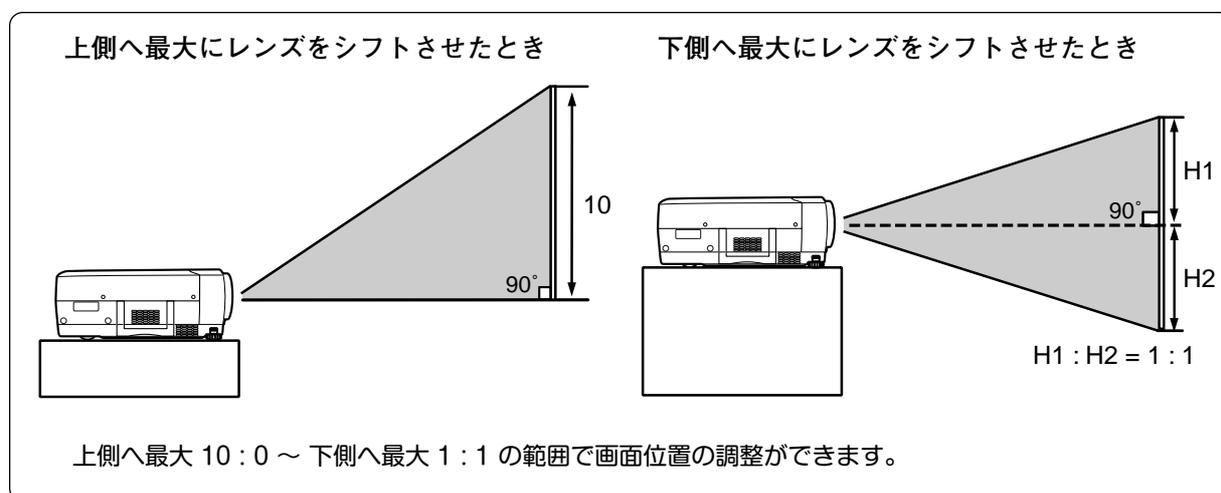
スクリーンに対して直角に設置する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフト機能で画面の位置を合わせる

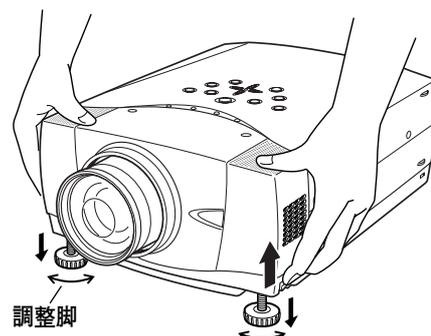
本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面位置を上下に移動させることができます。操作のしかたについては、27ページをごらんください。



投映画面の高さと傾きを調整する

画面の上下調整は、はじめにレンズシフトで行ない、そのあと調整脚で高さの調整を行なってください。調整脚のみで調整を行なうと画面に台形のひずみが生じます。

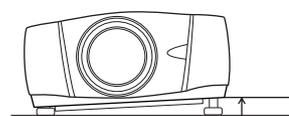
- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを人差し指で引き上げて調整脚を伸ばし、人差し指を離して調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約10.5度まで上がります。



- 投映したときの光軸の水平方向の傾きは ±10度以内に ●
- スクリーンに対して光軸の水平方向の傾きが ±10度以内になるように投映してください。光軸の水平方向の傾きが大きいと、光源ランプの寿命に悪い影響を与えます。



注意

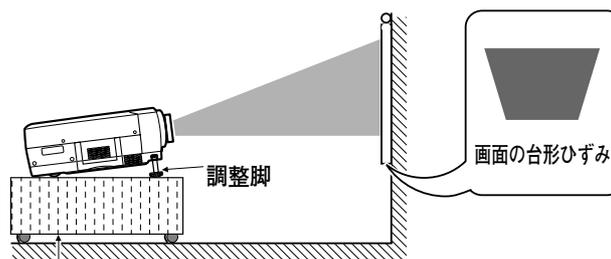


水平の傾きは最大約 10° まで

- 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。(28ページ参照)



設置台

※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

設置するときは次のことに注意してください

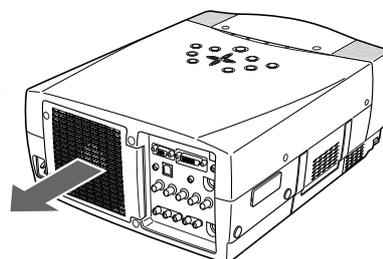
● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変型したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



排気口



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手で触れたりしないでください。やけどの原因になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

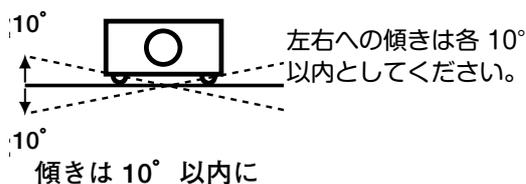
使用温度範囲	5°C~35°C	保管温度範囲	-10°C~60°C
--------	----------	--------	------------

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターを正しい方向に設置ください。指定外の方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投映しないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投映しないでください。

● ご注意・著作権について ●

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

リモコンの準備

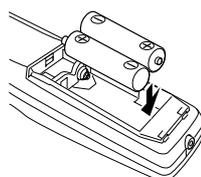
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



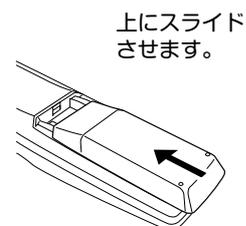
2 電池を入れます。

付属の乾電池を+プラス、
-マイナスに注意して入れます。



使用乾電池
単3型アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。



● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



注意



禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

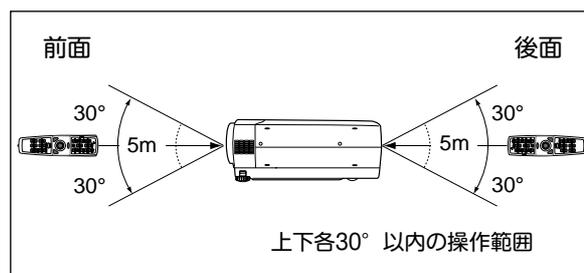
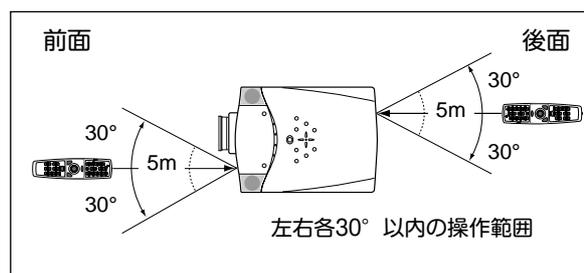
リモコンで操作できる範囲

ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30° 以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。



警告

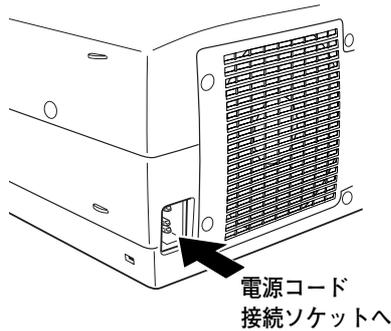
リモコンのレーザーポイントの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER-KLASSE 2
レーザー放射 クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力): 1mW
WAVE LENGTH (波長): 650±20nm

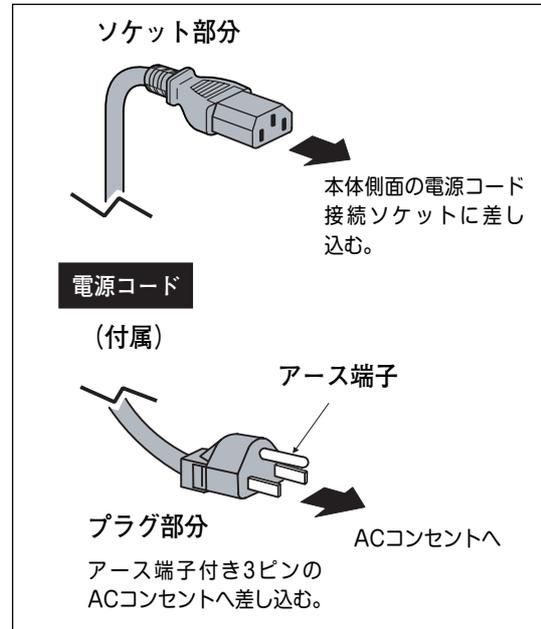
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、17～19ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの ACコンセントに差し込みます。



● アース端子を接地してください ●

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

機器をつなぐ端子

本機の後面にはコンピュータやビデオ機器を接続するための入出力端子を装備しています。機器をつなぐときは、17～19ページを参照して正しく接続してください。

音声入出力端子 1

投映中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。または、外部のオーディオ機器へ出力する端子として切り替えて使用することができます。（18、19、32 ページ参照）

USB 端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのUSB端子を付属のUSBケーブルでつなぎます。（49、51 ページ参照）

RGB アナログ入出力端子

コンピュータからのアナログ（RGB）出力と接続します。または、コンピュータモニター出力として切り替えて使用することができます。接続には付属のDOS/V用コンピュータ接続ケーブルを使用します。（18、65 ページ参照）

RGB デジタル入力端子

DVI規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル（TMDS）出力と接続します。接続には別売のDVI用コンピュータ接続ケーブルを使用します。（18、32、65 ページ参照）

リモートコントロール端子

この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を付属の接続コードでつなぐと、リモコンがワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。（21 ページ参照）

リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

コントロールポート端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのマウスポート端子を付属のマウスコントロールケーブルでつなぎます。（18、51、65 ページ参照）

ビデオ入力端子

ビデオ機器からの映像出力と接続します。コンポジット映像出力は VIDEO/Y へ、コンポーネント映像出力は VIDEO/Y、Cb/Pb、Cr/Pr へ接続します。（19 ページ参照）

S 映像入力端子

ビデオ機器からの S映像出力をこの端子に接続します。（19 ページ参照）

音声入力端子 2

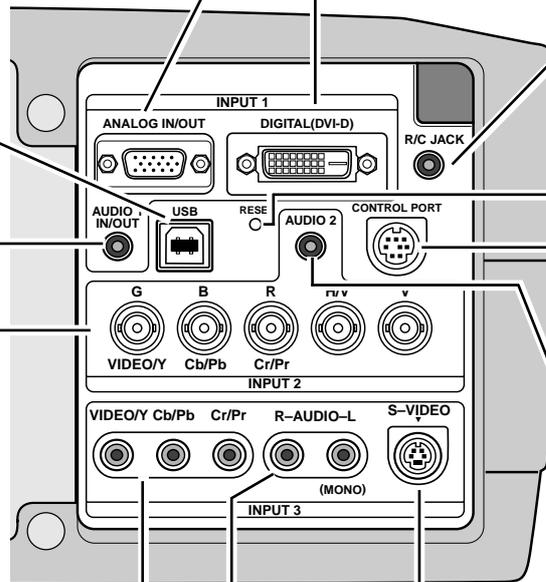
投映中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。（18、19 ページ参照）

ビデオ入力端子および コンピュータ アナログ入力端子

DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力〔Y、Pb、Pr〕、または、コンピュータからのアナログ（RGB）出力を接続します。（18、19 ページ参照）

音声入力端子 3

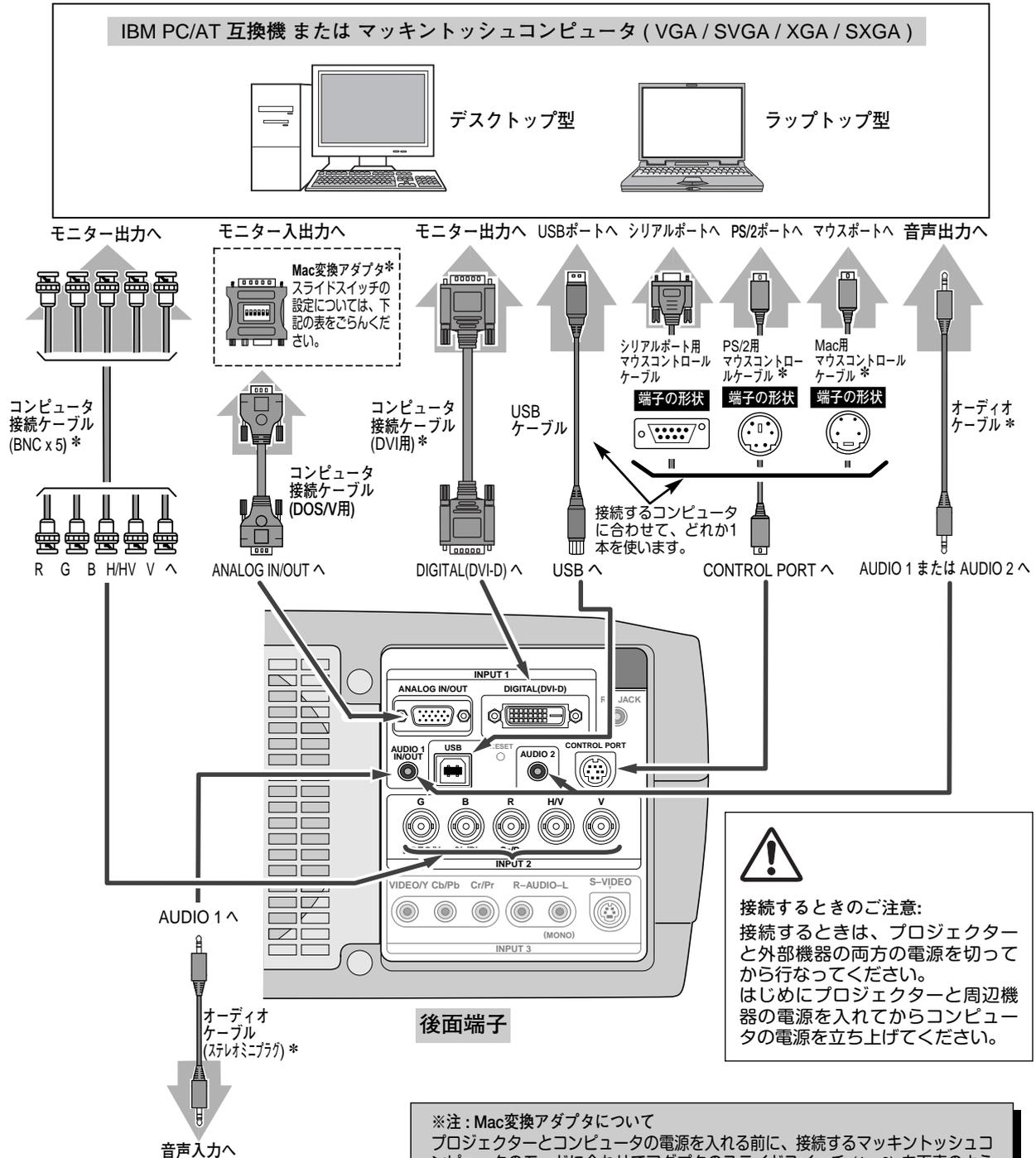
ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は「L (MONO)」端子へ接続してください。（19 ページ参照）



コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

- コンピュータ接続ケーブル (DOS/V用、DVI用 *または BNC x 5 *)
- マウスコントロールケーブル: (シリアルポート用、PS/2用*、Mac用 *)
- USBケーブル
- Macアダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時) *
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ *)



※注: Mac変換アダプタについて
プロジェクターとコンピュータの電源を入れる前に、接続するマッキントッシュコンピュータのモードに合わせてアダプタのスライドスイッチ (1~6) を下表のように設定してください。

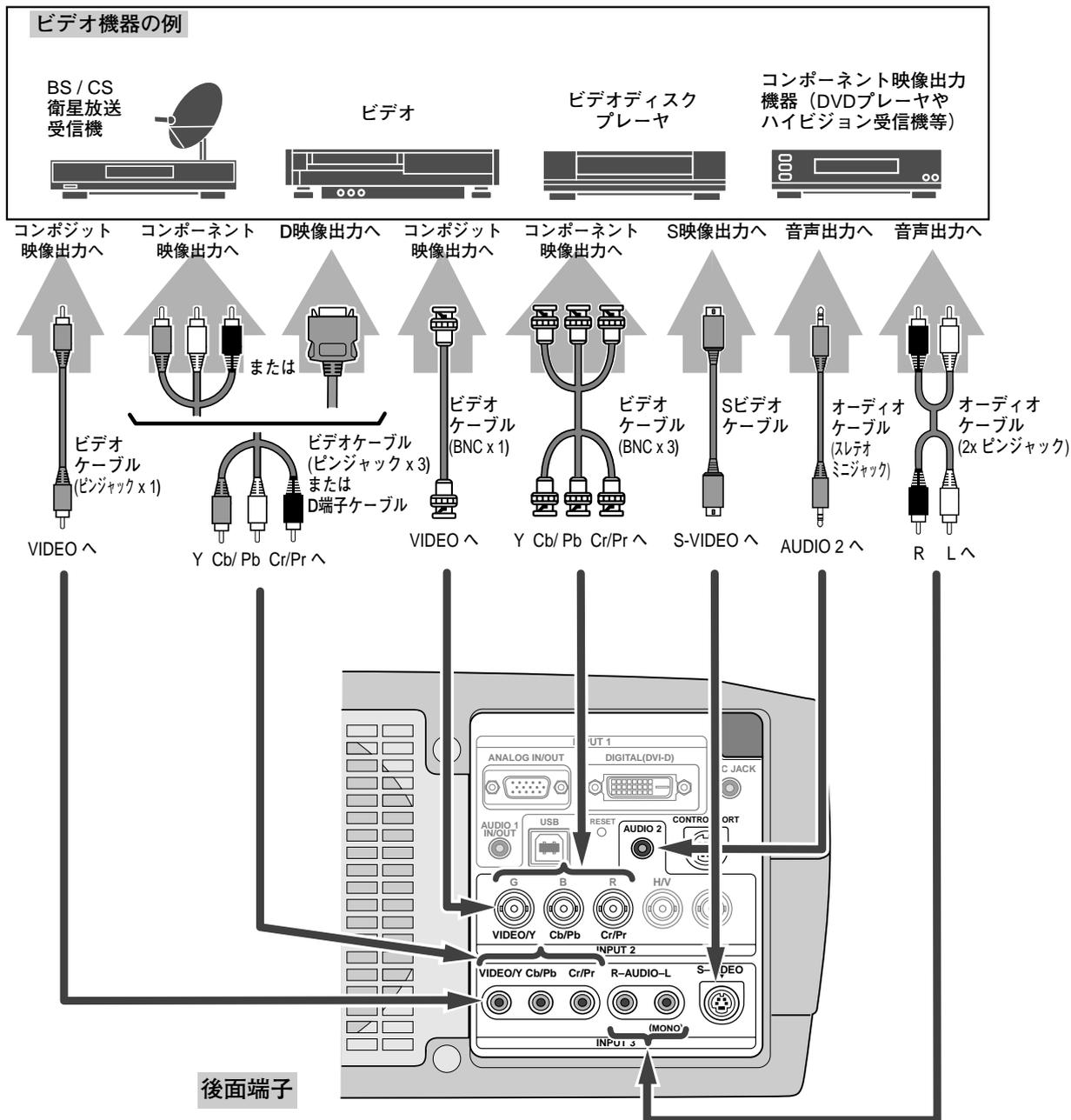
モード	スイッチ	1	2	3	4	5	6
13" MODE (640 x 480)	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
16" MODE (832 x 624)	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
19" MODE (1024 x 768)	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
21" MODE (1152 x 870)	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF

ビデオ機器を接続する (例)

接続に使用するケーブル (市販のケーブルをお使いください。)

- ビデオ ケーブル
(1x ピンジャック、3 x ピンジャック、BNC x 1、BNC x 3)
- Sビデオ ケーブル (ミニDIN 4ピン) • D端子 ケーブル
- オーディオ ケーブル (2 x ピンジャック)
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ)

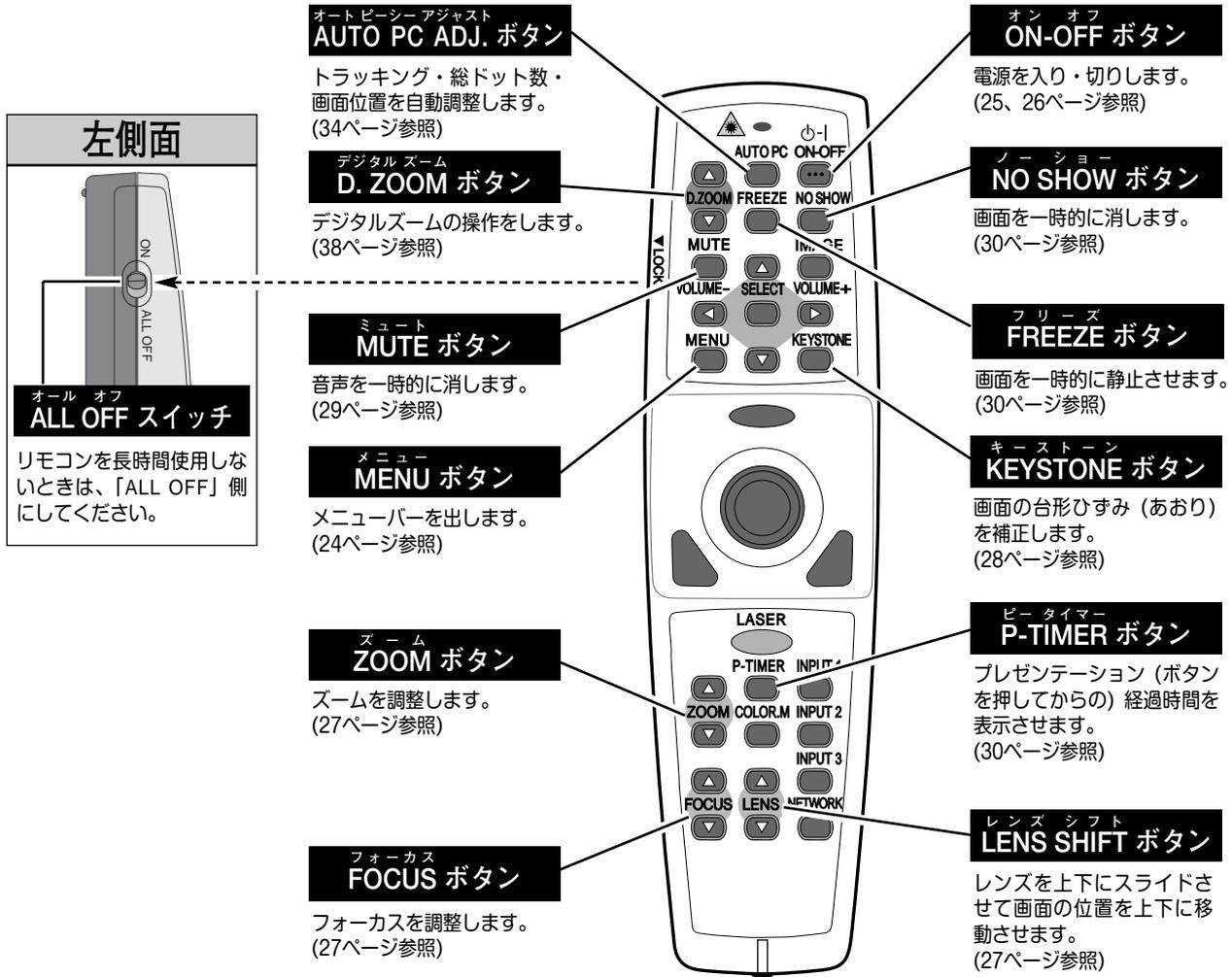
 接続するときの注意:
接続するときは、プロジェクター
と外部機器の両方の電源を切っ
てから行ってください。



操作の前に

リモコンのボタン

付属のマウスコントロールケーブルでコンピュータとプロジェクターを接続するとコンピュータのマウスとしてご使用いただけます。ご使用前にリモコン左側面のスイッチを ON にします。使用後は OFF にしてください。



● リモコンの持ち方 ●

リモコンは図のように持つと便利に操作できます。



警告

リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使用せたりしないでください。

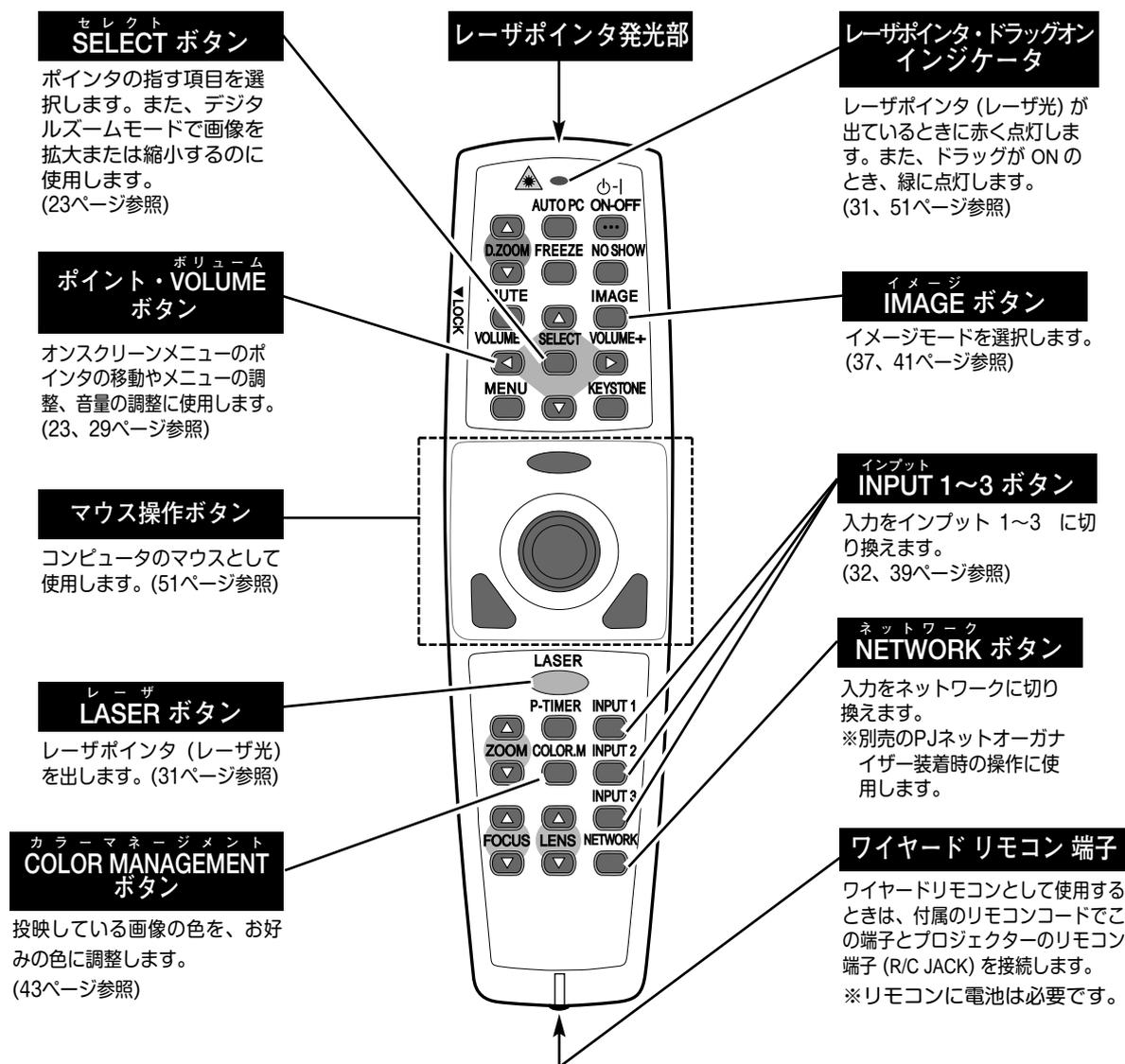
LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER-KLASSE 2
レーザー放射クラス2レーザー製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力): 1mW
WAVE LENGTH (波長): 650±20nm

親指でマウスポインタの上・下・左・右、左クリック ボタン、右クリックボタンを押します。

レーザーポインタ
インジケータ

レーザーポインタ
発光部





**セレクト
SELECT ボタン**

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。(23ページ参照)

レーザーポインタ発光部

レーザーポインタ・ドラッグオンインジケータ

レーザーポインタ (レーザー光) が出ているときに赤く点灯します。また、ドラッグが ON のとき、緑に点灯します。(31、51ページ参照)

**ボリューム
ポイント・VOLUME
ボタン**

オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。(23、29ページ参照)

**イメージ
IMAGE ボタン**

イメージモードを選択します。(37、41ページ参照)

マウス操作ボタン

コンピュータのマウスとして使用します。(51ページ参照)

**インプット
INPUT 1~3 ボタン**

入力をインプット 1~3 に切り換えます。(32、39ページ参照)

**レーザー
LASER ボタン**

レーザーポインタ (レーザー光) を出します。(31ページ参照)

**ネットワーク
NETWORK ボタン**

入力をネットワークに切り換えます。
※別売のPJネットオーガナイザー装着時の操作に使用します。

**カラーマネジメント
COLOR MANAGEMENT
ボタン**

投映している画像の色を、お好みの色に調整します。(43ページ参照)

ワイヤードリモコン 端子

ワイヤードリモコンとして使用するときは、付属のリモコンコードでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。
※リモコンに電池は必要です。

●ディップスイッチの設定●

リモコンの電池カバー内に、ディップスイッチがあります。ご使用状況に合わせ、ディップスイッチを設定してください。

スイッチ1、2、3

スイッチの切り換えにより、8モードのリモコンコードに切り換えられます。機器間で類似コードによる誤動作が生じる場合、コードを切り換えてご使用ください。リモコンコードを切り換えると、プロジェクター本体のコード変更も必要です。

※ リモコンコードについての詳しくは、49ページをご覧ください。

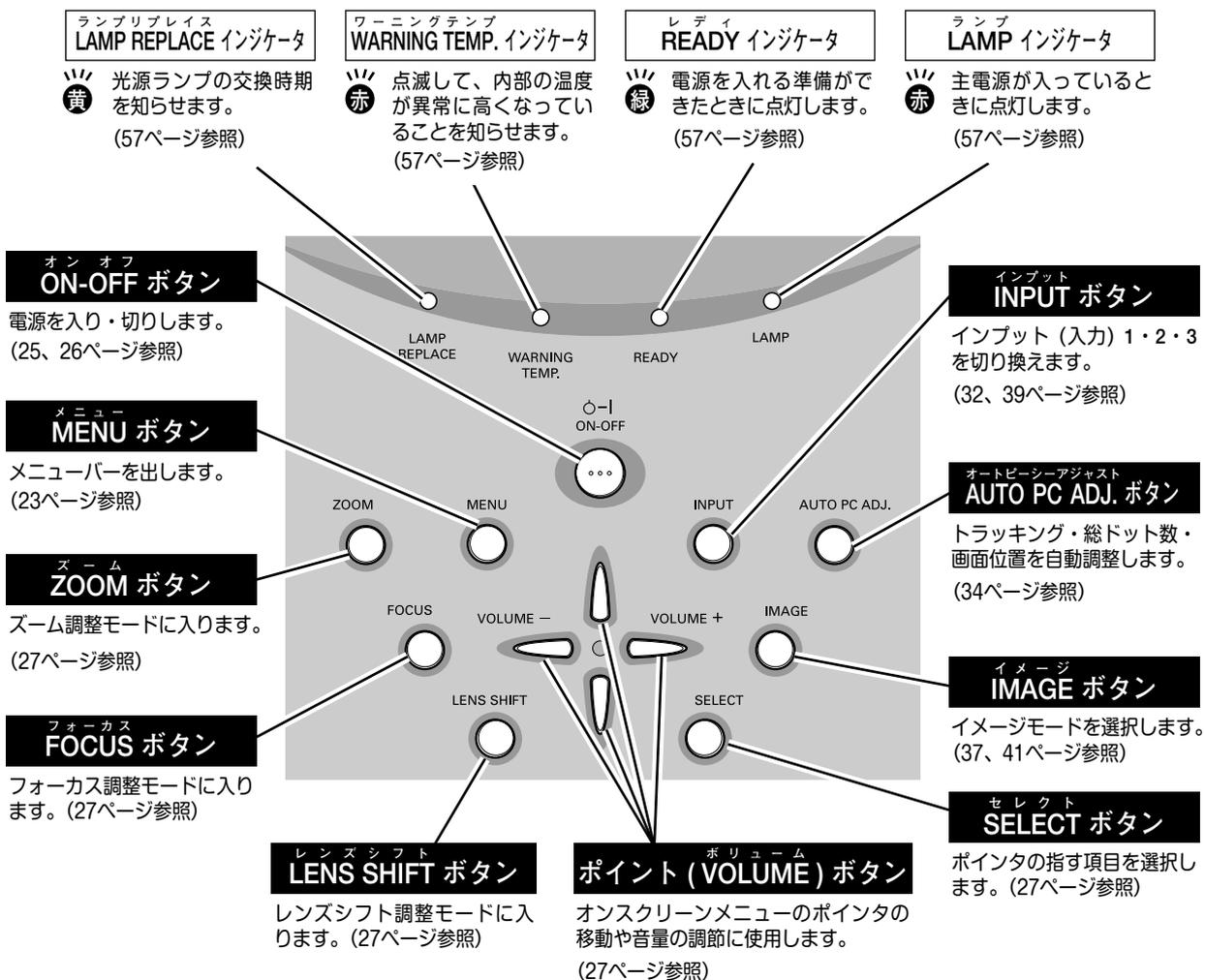
スイッチ 4

レーザーポインタ機能のON OFFの設定。OFF側にすると機能が停止します。

リモコンコード スイッチ設定

スイッチ				コードNo.
1	2	3	4	
ON	ON	ON	ON	コード1
ON	ON	OFF	ON	コード2
ON	OFF	ON	ON	コード3
ON	OFF	OFF	ON	コード4
OFF	ON	ON	ON	コード5
OFF	ON	OFF	ON	コード6
OFF	OFF	ON	ON	コード7
OFF	OFF	OFF	ON	コード8

本体操作パネルのボタン



オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

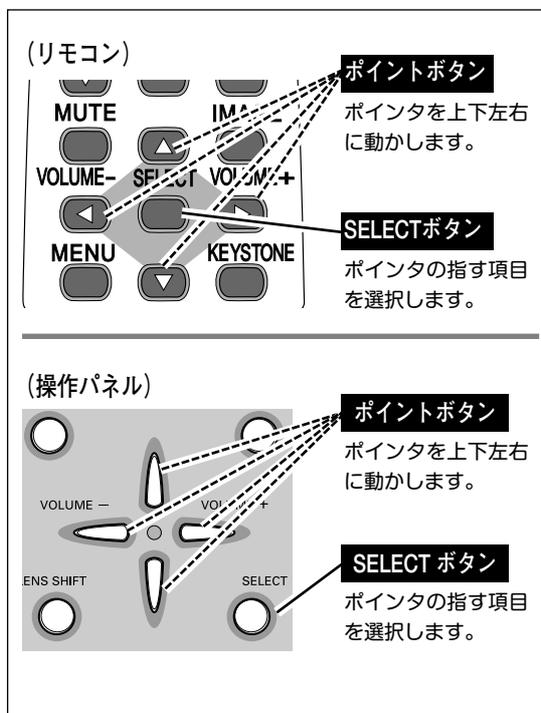
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

①ポインタの動かしかた

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SELECTボタンを押します。SELECTボタンはリモコンと操作パネルにあります。



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

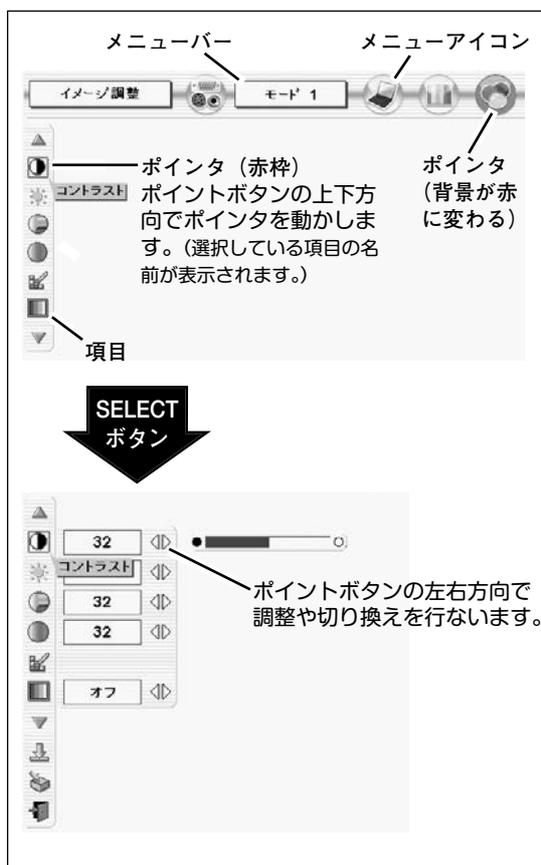
- MENU ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- ポイントボタンの左右でメニューを選択します。選択されたアイコンは背景が赤に変わります。

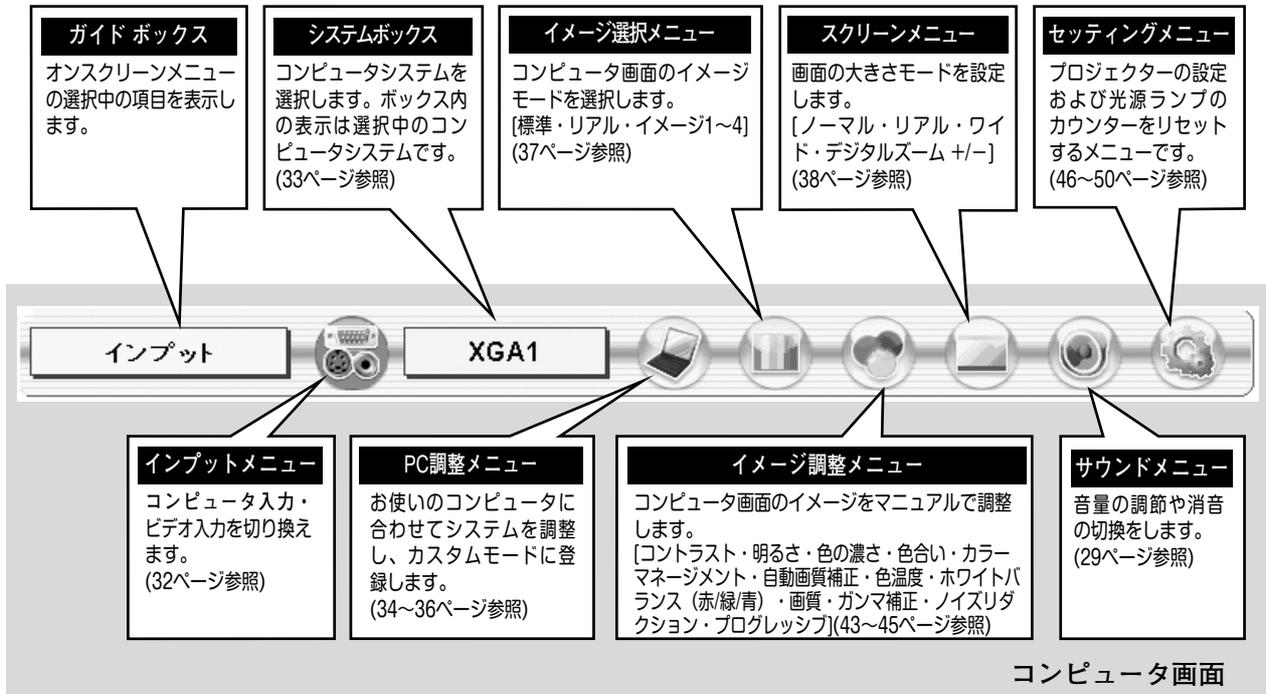
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- ポイントボタンでポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- SELECT ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- ポイントボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

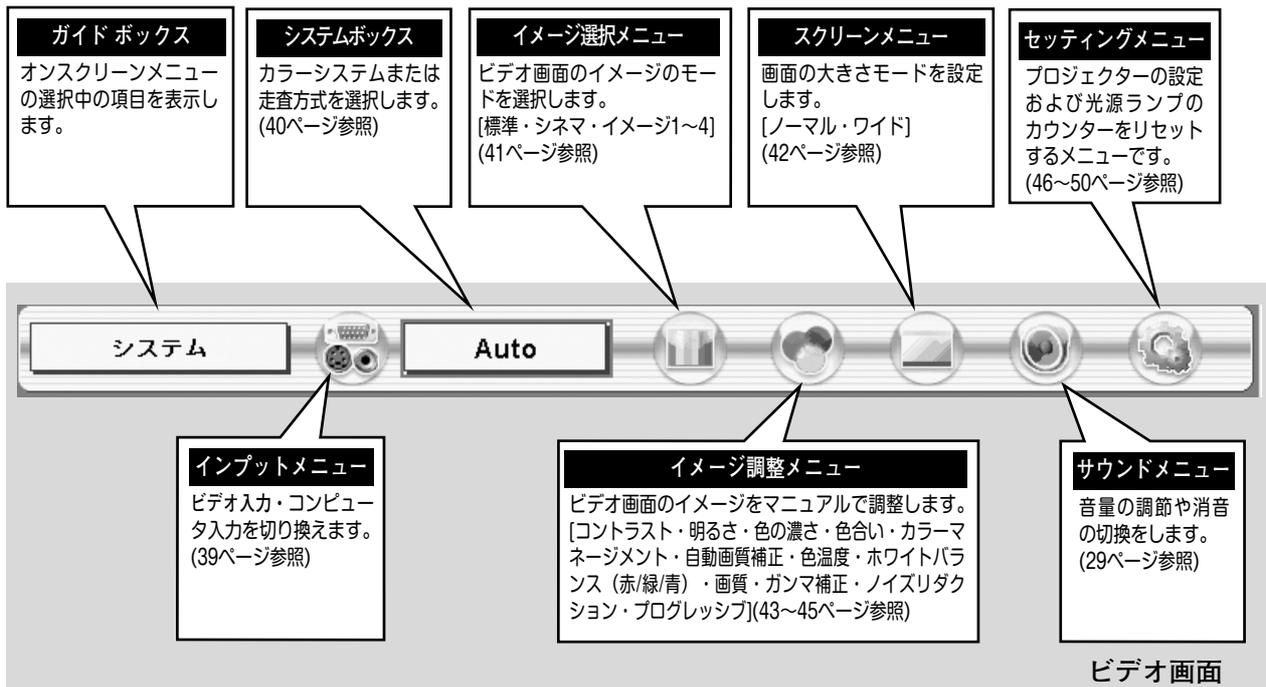


メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



ビデオ画面のメニューバー



電源を入れ画面を投映する

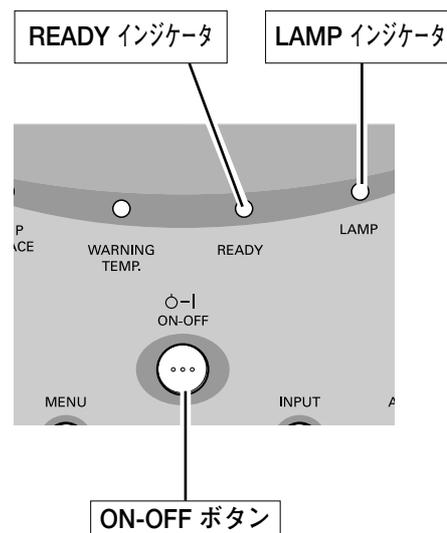
電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、17～19 ページを参照してコンピュータ、ビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードを AC コンセントに接続します。(16ページ参照)
赤色の LAMP インジケータと緑色の READY インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押して電源を入れます。
LAMP インジケータが少し暗めの点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面が終わると画像が映せます。



入力モードとランプ
モードの表示



- ※オープニング画面が終わると画面の左上に入力モードとランプ表示(ランプの点灯状況を示すランプモード表示) が約5秒間出ます。
ランプモードの詳細は46ページをごらんください。
- ※LAMP インジケータ以外のランプが点灯し、電源が入らないときは、57ページの「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で動作を確認ください。
- ※設定メニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。(47ページ参照)

● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。この間は電源コードを抜かないでください。90秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

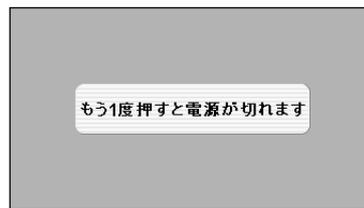
本機は、操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約15Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



注意

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が消えます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 ON-OFF ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の READY インジケータが消え、赤色の LAMP インジケータが明るく点灯します。



※表示は約4秒間出ます。

● 電源を切った後、約 90秒間は電源が入りません ●

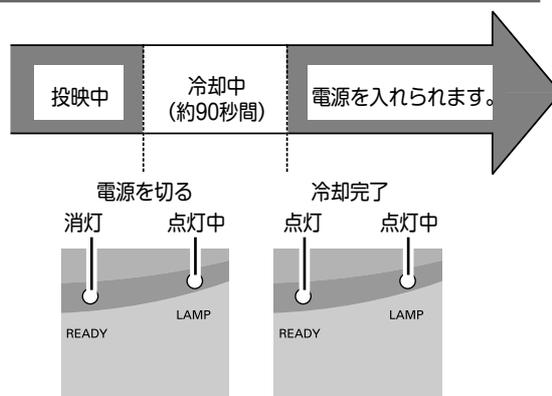
電源を切った後、約 90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約 90 秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● 光源ランプを長持ちさせるために ●

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFF ボタンで電源を切り、約90秒経過後、緑色の READY インジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。



プロジェクターを 24時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合 24 時間に 1 度電源を切り、1 時間休ませてください。続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

工場出荷時、タイマーは 5 分に設定されています。(48ページ参照)

パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」の時

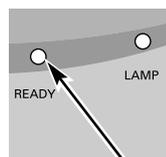
- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は READY インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 2) ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

設定が「シャットダウン」の時

- 1) タイマーのカウントダウンが完了すると ランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は READY インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



タイマー表示



パワーマネージメントモードになると、READY インジケータが点滅を始めます。

投映画面を調整する

画面の大きさを決める (ZOOM)

リモコンで操作するとき

ZOOM ボタン 上・・・画面が大きくなります。
ZOOM ボタン 下・・・画面が小さくなります。

操作パネルで操作するとき

- 1 操作パネルの ZOOM ボタンを押します。
画面に「ズーム」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画面の大きさを調整します。
ポイント ボタン 上・・・画面が大きくなります。
ポイント ボタン 下・・・画面が小さくなります。



※表示は約4秒間出ます。

フォーカスを合わせる (FOCUS)

リモコンで操作するとき

リモコンの FOCUS ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

操作パネルで操作するとき

- 1 操作パネルの FOCUS ボタンを押します。
画面に「フォーカス」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

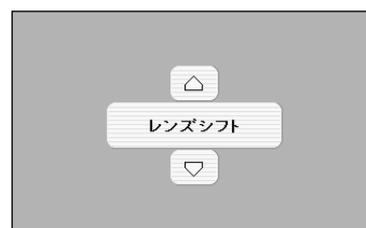


※表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす (LENS SHIFT)

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- 1 リモコンの LENS ボタン上下、または操作パネルの LENS SHIFT ボタンを押します。
画面に「レンズシフト」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にリモコンの LENS ボタン上下、または操作パネルのポイントボタンの上下で、画面の位置を上下に動かします。



※表示は約4秒間出ます。

※画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなる場合があります。

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する(KEYSTONE)

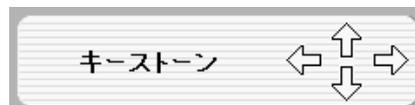
リモコンで操作するとき

リモコンの KEYSTONE ボタンを押します。
「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。

ポイントボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
ポイントボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。
ポイントボタン 左・・・画面左部の高さが縮みます。
ポイントボタン 右・・・画面右部の高さが縮みます。

※ KEYSTONE ボタンは操作パネルにはありません。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度リモコンの KEYSTONE ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。



※ 表示は約10秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

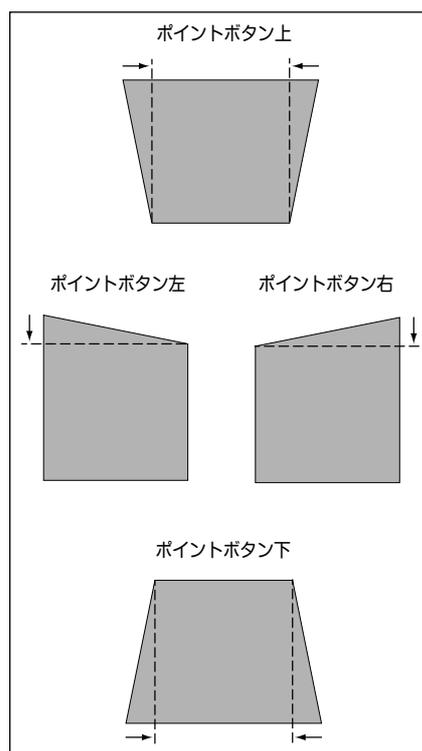
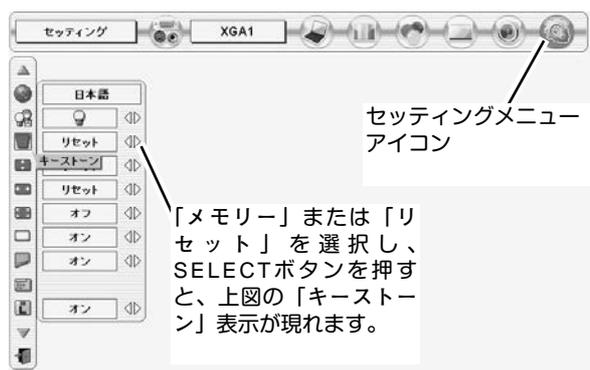
オンスクリーンメニューで操作するとき

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをキーストーンのアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。(46ページ参照)
もう一度 SELECT ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。



音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

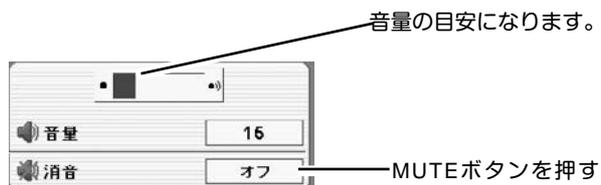
音量調節

リモコンまたは操作パネルの VOLUME ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの MUTE ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ MUTE ボタンは操作パネルにはありません。



音量の目安になります。

MUTE ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 表示は約4秒で消えます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをサウンドメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをお好みの項目に合わせ、SELECT ボタンで選択します。

音量調節

ポイントボタン左で音量が小さくなり、ポイントボタン右方向で音量が大きくなります。音量のバーを目安に調節してください。

スピーカ

プロジェクター内蔵のスピーカの調整をします。ポイントボタン右または左で、「オン」「オフ」を切り換えます。

オフ・・・内蔵スピーカから音を出しません。

消音

ポイントボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※ 消音を「オン」にしても「音量」の数値を変更すれば「オフ」になります。

サウンドメニュー



サウンドメニューアイコン

音量の目安になります。

メニューを終了します。

画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。もう一度 FREEZE ボタンを押すと、解除されます。

※ FREEZE ボタンは操作パネルにはありません。

● こんなときに便利です ●

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZE ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの P-TIMER ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度 P-TIMER ボタンを押すと経過時間のカウントが止まり、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに P-TIMER ボタンを押すと解除されます。

※ P-TIMER ボタンは操作パネルにはありません。



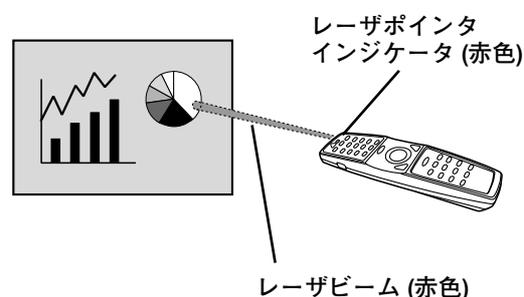
※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

レーザーポインタを使用する (LASER)

リモコンの LASER ボタンを押している間レーザーポインタインジケータ (赤色) が点灯し、リモコンのレーザーポインタ発光部からレーザービームが出ます。(20ページ参照)
ボタンを押すのを止めると、レーザービームの発光は止まります。



- ※ LASER ボタンは操作パネルにはありません。
- ※ LASER ボタンを押し続けても、1分経つと安全のため自動的にレーザービームの発光が止まります。
- LASER ボタンを押し直すと、レーザービームが再び出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションで画面の注目してほしい部分を赤いレーザー光で指すことができます。



警告

リモコンのレーザーポインタの発光部のぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザー放射クラス2 レーザー製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

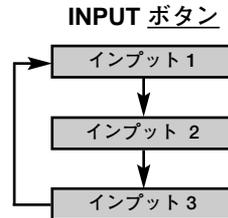


コンピュータ入力

コンピュータ入力に切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの INPUT 1 ボタン、INPUT 2 ボタン、または操作パネルの INPUT ボタンを押して、「インプット 1」または「インプット 2」を選択します。

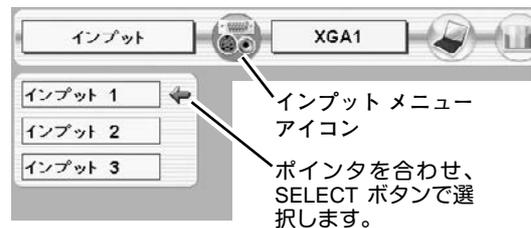


INPUT ボタンを押すことに切り換わります。
※表示は約4秒間出ます。

インプットメニューで入力を切り換える

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタン下で、コンピュータ信号が入力されている端子（「インプット 1」または「インプット 2」）にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
信号形式選択メニューが現れます。
※「インプット 3」はビデオ入力時に使用します。
- ポインタを希望する信号形式に合わせ、SELECT ボタンで選んで下さい。

インプットメニュー



インプット 1

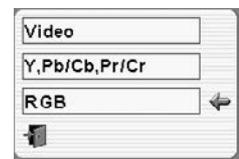
ANALOG IN/OUT (ミニD-sub15ピン) 端子にアナログ信号が入力されている場合は「RGB (アナログ)」を、DIGITAL(DVI-D) 端子にデジタル信号が入力されている場合は「RGB (デジタル)」を選択します。

DIGITAL(DVI-D) 端子に HDCP技術でコピープロテクトされたハイビジョン信号を接続したときは「RGB (AV HDCP)」を選択します。

RGB (SCART) は、ANALOG IN/OUT (ミニD-sub15ピン) 端子に SCART 21ピン*ビデオ信号が入力されている場合に選択します。
(18ページ参照)

インプット 2

「RGB」を選択します。
(18、65ページ参照)



信号形式選択メニュー

ポインタを希望する信号形式へ移動し、SELECT ボタンを押して選択します。

ANALOG IN/OUT端子をモニター出力として使う

「インプット 1」の中で「モニター出力」を選択します。「INPUT 2」に入力したRGB 信号が出力されます。

また、「AUDIO IN/OUT」端子からは音声信号が出力されます。

※SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るとは、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターのANALOG IN/OUTを専用のケーブルで接続します。ANALOG IN/OUT で再生されるRGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

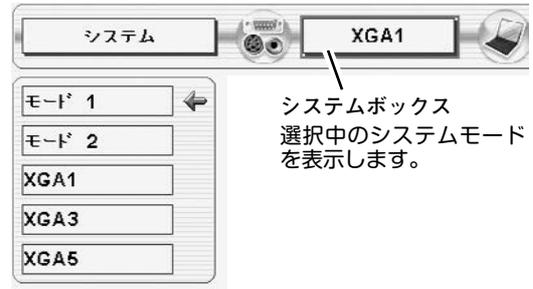
(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ふだん特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。(34～36 ページ参照)

選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスに、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(35、36 ページ参照)

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。(17～19 ページ参照)
 コンピュータの入力信号がデジタルの場合、以下の表示が出ます。(60 ページ参照)

D-VGA ・ **D-SVGA** ・ **D-XGA**

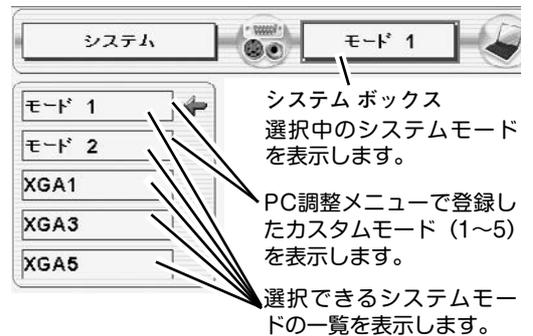
システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを選択するモードに合わせ、SELECT ボタンを押します。

※カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。(35、36ページ参照)

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

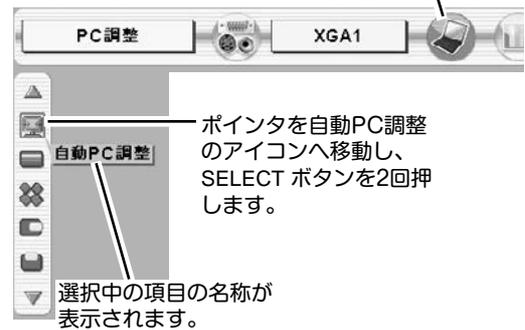


自動PC調整

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタを「PC調整メニュー」のアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを「自動PC調整」のアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すとPC調整画面が出ますので、SELECT ボタンをもう一度押して自動調整してください。
自動PC調整機能は、リモコンまたは操作パネルの AUTO PC ADJ.ボタンではたらかまず。

PC調整メニュー

PC調整メニュー
アイコン



※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」を完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(次ページ参照)

自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、36ページのマニュアルPC調整の手順3をごらんください。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、システムメニューで 480p、575p、480i、575i、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらかませません。

マニュアルPC調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードに登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードは5つまで登録することができます。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合は、PC調整メニューは機能しません。

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタン左右でポインタをPC調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。

※画面領域 H と V は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)

※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

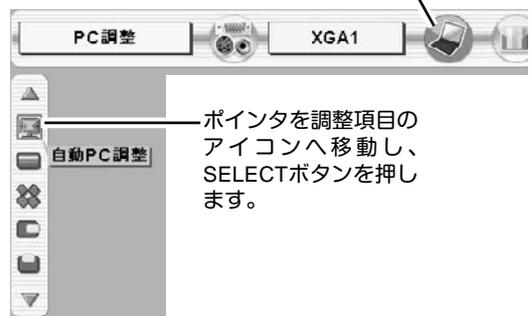
クランプ位置を調整します。

画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。

PC調整メニュー

PC調整メニュー
アイコン



ポインタを調整項目のアイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。

カスタムモードの登録状況 (データあり/データなし) を表示します。



カスタムモード



ポイントボタンの左右で値を調整します。

ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。



コンピュータ情報

水平周波数	48.5
垂直周波数	60.0

ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、現在接続中のコンピュータの信号を表示します。

画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 H は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 V は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

フルスクリーン

オン・・・横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投射します。

オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投射します。

※システムメニューで480p、575p、480i、575i、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」「画面領域」「画面領域 H」「画面領域 V」「フルスクリーン」の調整はできません。

※セッティングメニューで「アナモフィック」を「オン」にしているときは「フルスクリーン」の調整はできません。

3 メモリー

ポイントをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 から 5 までのいずれか) にポイントを合わせ、SELECT ボタンを押します。

データ消去

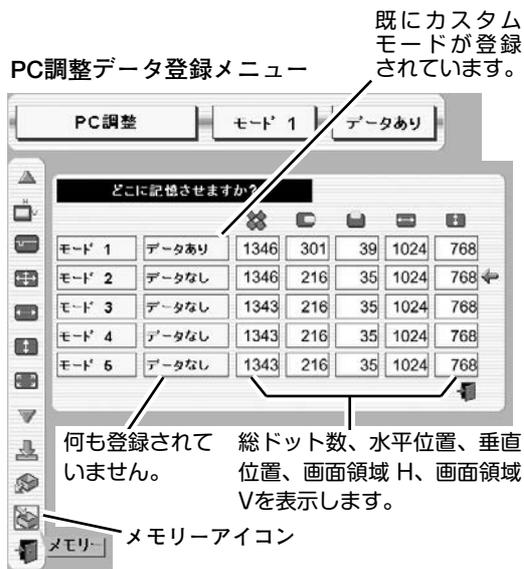
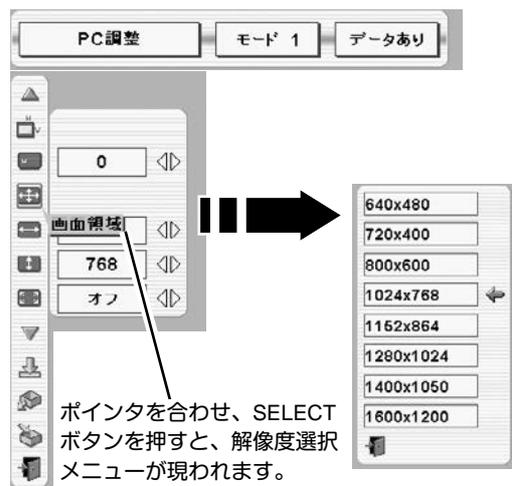
ポイントをデータ消去アイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポイントを合わせ、SELECT ボタンを押します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。



イメージモードの選択

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

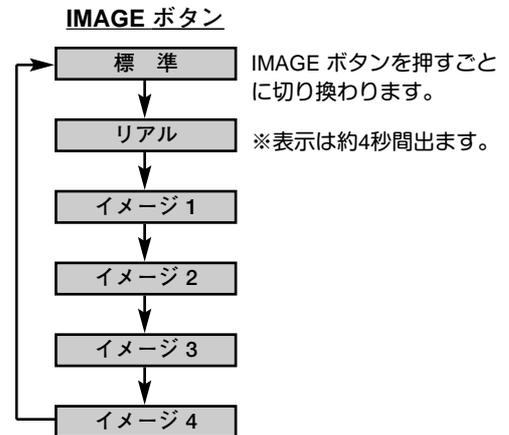
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネジメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(下記参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタン下でポインタをお好みのイメージモードに合わせ、SELECT ボタンで選びます。



標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネジメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。



リアル

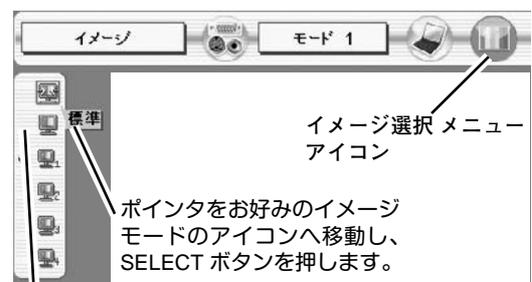
このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。



イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(43~45ページ参照)

イメージ選択メニュー



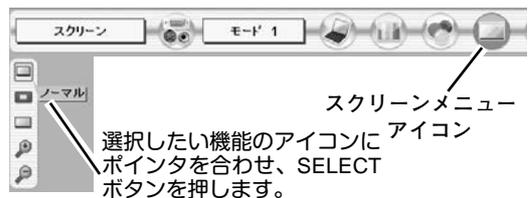
選択中のイメージモード

適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは 1024x768ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ノーマル

画像を有効投映画面 (1024x768ドット) の高さに合わせて投映します。

リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面 (1024x768ドット) よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム+」モードに入ります。

ワイド

画像を有効投映画面 (1024x768ドット) の幅に合わせ、横16 : 縦 9 のワイド画面で投映します。

デジタルズーム +

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」表示が現われます。SELECTボタンを押すごとに画像が拡大します。ポイントボタンの上下左右で画像を移動させます。画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面 (1024x768ドット) よりも大きいときのみはたります。リモコンの D.ZOOM 上 ボタンで画像の拡大ができます。

デジタルズーム -

「デジタルズーム-」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom -」表示が現われます。SELECTボタンを押すごとに画像が縮小します。リモコンの D.ZOOM 下 ボタンで画像の縮小ができます。

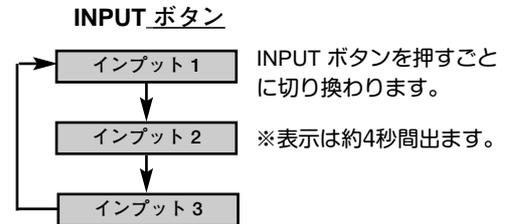
- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、D.ZOOM、SELECT、ポイント、LASER、リモコンの左クリック、ドラッグ以外のボタンを押します。
- ※ システムメニューで 720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。
- ※ システムメニューで 480p、575p、480i、575iのシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム +/-」は選択できません。
- ※ 本機は SXGA (1280x1024ドット) を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が SXGA (1280x1024ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ XGA (1024x768ドット) 以外の画像データは、有効投映画面 (1024x768ドット) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。(「ノーマル」、「ワイド」選択時。)
- ※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム+」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

ビデオ入力に切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの INPUT2、INPUT 3 ボタン、または操作パネルの INPUT ボタンを押して、「インプット 2」または「インプット 3」を選択します。

※正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。(下記参照)



インプットメニューで入力を切り換える

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをインプットメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポイントを信号が入力された端子（「インプット 2」または「インプット 3」）に合わせ、SELECT ボタンで選択すると信号選択メニューが現われます。

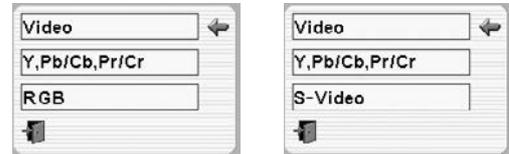
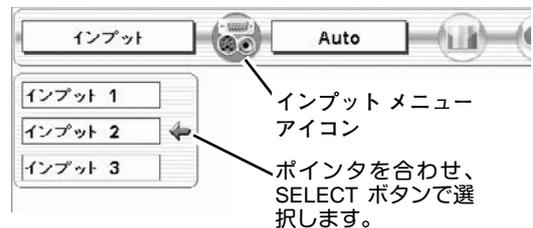
※「インプット 1」はコンピュータ入力時に使用します。

3 ポインタを希望する信号の種類に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。(19ページ参照)

※後面端子 INPUT 2 の BNC 入力端子 (VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr) に接続したコンポジット映像信号 (Video) またはコンポーネント映像信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を選択するときは、「Video」または「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」のいずれかを選んでください。

※後面端子 INPUT 3 の RCA 入力端子 (VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr) または S-VIDEO端子に接続した、コンポジット映像信号 (Video)、コンポーネント映像信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) または S-VIDEO信号を選択するときは、「Video」「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」「S-Video」の中から正しい信号形式を選んでください。

インプットメニュー



信号選択メニュー (ビデオ)

ポインタを希望する信号の種類に合わせ、SELECT ボタンを押します。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

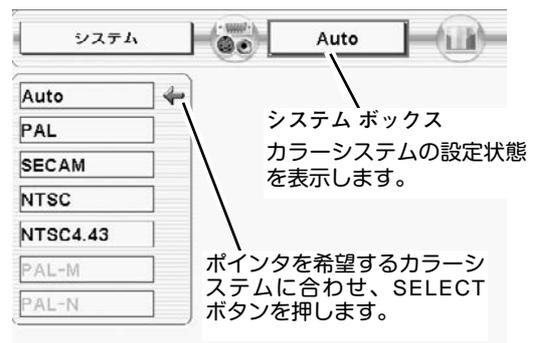
Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。
※ PAL-M と PAL-N は、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して選んでください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー
(コンジット映像またはS映像入力時)



Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

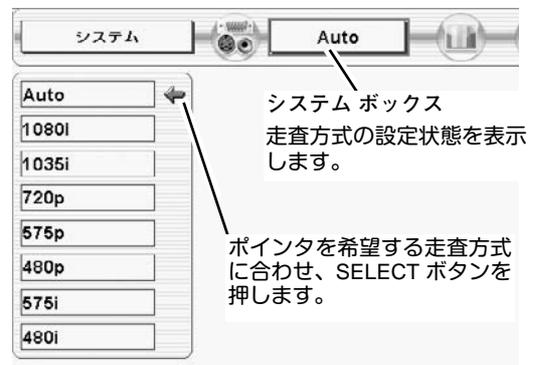
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480iの中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



イメージモードの選択

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

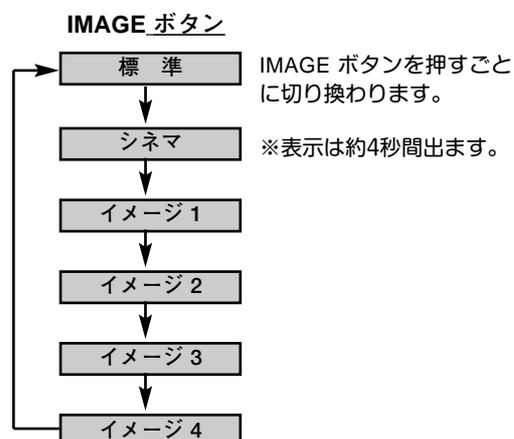
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(下記参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタン下でポイントをお好みのイメージモードに合わせ、SELECT ボタンで選びます。

標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

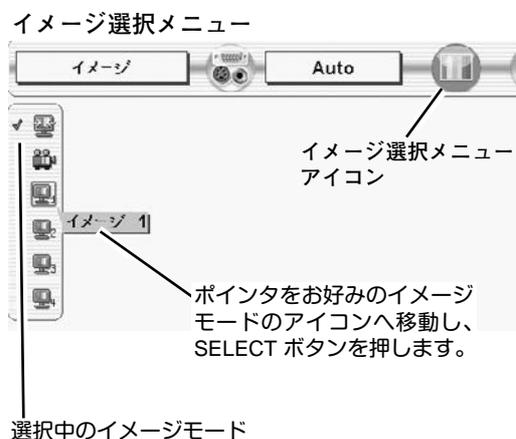
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(43~45ページ参照)



画面のサイズを選択する

お好みにより、画面サイズを 2 種類の中から選択できます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押します。

ノーマル

通常の映像のアスペクト比 (横 : 縦) 4 : 3 で投映します。

ワイド

DVDプレーヤー等のワイドモードで出力された映像信号をアスペクト比 16 : 9 のワイド画面で投映します。

※ システムメニューで 1080i、1035i または 720p の信号 (アスペクト比 16 : 9) が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。(40ページ参照)

マニュアルでイメージ調整を行なう

マニュアルでのイメージ調整は、コンピュータ入力、ビデオ入力、いずれでも行なうことができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを調整したい項目のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右などで行ないます。
- 3 調整した内容を記憶します。

メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

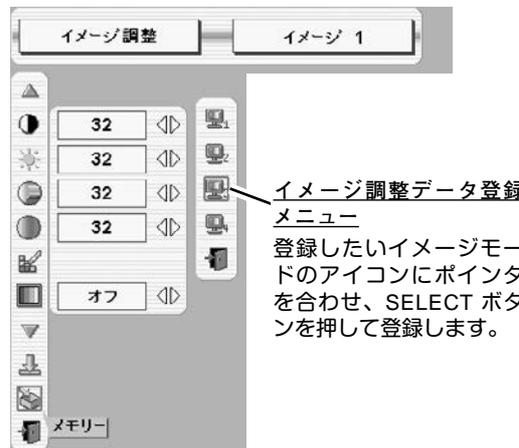
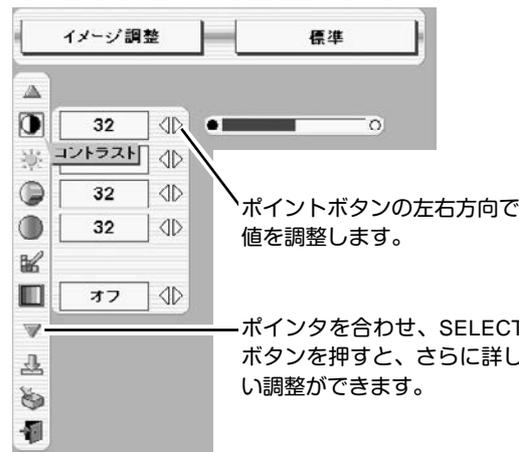
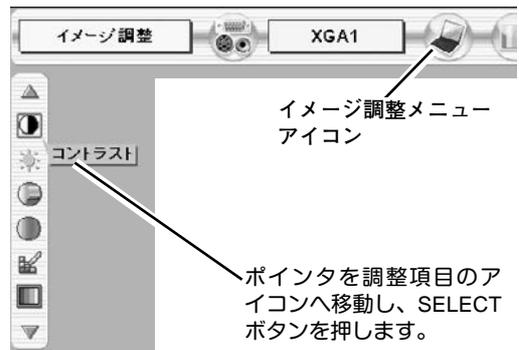
リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。

イメージ調整メニュー



各項目の調整

● コントラスト

ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

☀ 明るさ

ポイントボタン左で映像が暗くなり、ポイントボタン右で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

● 色の濃さ *

ポイントボタンの左で色が薄くなり、ポイントボタンの右で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

● 色合い *

ポイントボタン左で色が紫がかり、ポイントボタン右で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。(40ページ参照)

🎨 カラーマネージメント

投射している画像の色を、お好みの色に調整します。

- 1 SELECT ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。
- 2 ポイントボタンの上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させ、SELECT ボタンを押すと、「COLOR SELECTION」メニューが現れます。
- 3 ポイントボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択しSELECT ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。
- 4 ポイントボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択しSELECT ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

LIST 「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。

CANCEL 調整を中止し無色のカーソルの表示まで戻ります。

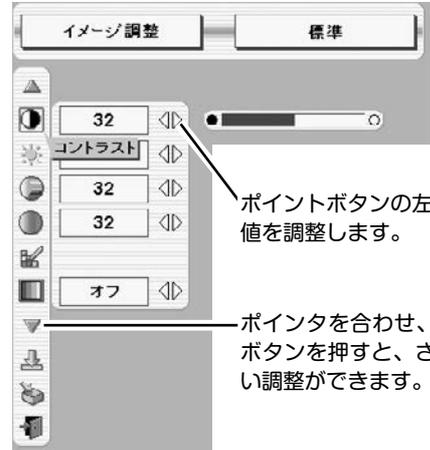
QUIT カラーマネージメントモードから抜けます。

- 5 「LIST」ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

ALL DEL 保存されたすべてのリストが削除されます。

MENU COLOR MANAGEMENT から抜け、イメージ調整メニューまで戻ります。

COLOR M. 調整を保存し、新たに無色のカーソルを表示され、調整を続けることができます。



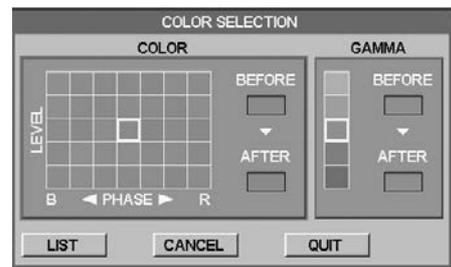
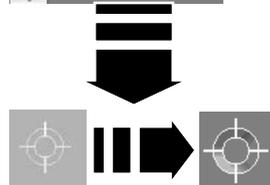
ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

カラーマネージメント

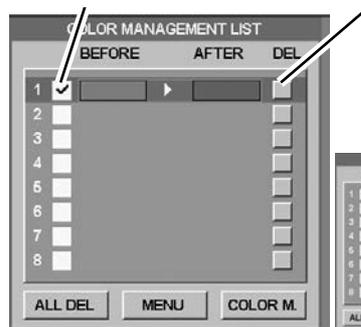


ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押し、調整メニューに入ります。



ポイントボタン左で選択し SELECT ボタンを押すとチェックが外れます。

ポイントボタン右で選択し SELECT ボタンを押すと削除できます。



PCとビデオで合計 8 件の保存ができます。

自動画質補正

映像の暗い部分のコントラストを強調します。
ポイントボタン右で、**オフ** → **L1** → **L2** の順でより強く強調されます。

※ 工場出荷時は **L1** に設定されています。

色温度

ポイントボタンの左右でお好みの色温度（超低－低－中－高）を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

RGB ホワイトバランス（赤・緑・青）

ポイントボタン左で各色調は薄くなり、ポイントボタン右で各色調は濃くなります。（各色 0 から 63 まで）

※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。

画質 *

ポイントボタン左で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右で映像がくっきりなります。（0 から 31 まで）

ガンマ補正

ポイントボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0 から 15 まで）

ノイズリダクション *

オン・・・古いビデオやノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

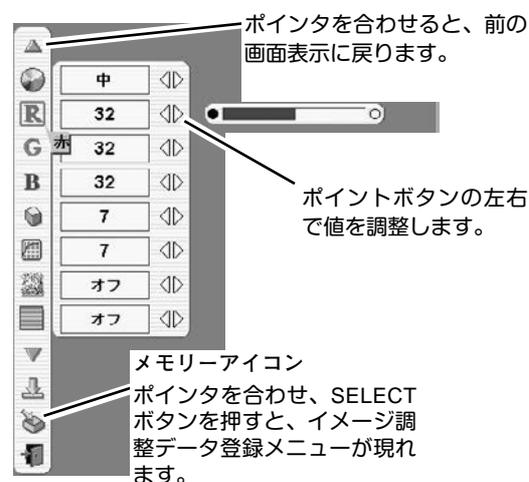
プログレッシブ *

オフ・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1・・・プログレッシブ スキャンをONにします。（動画のとき）

L2・・・プログレッシブ スキャンをONにします。（静止画のとき）

※ システムメニューで 480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」の選択はできません。



* コンピュータ入力で、
・RGB（アナログ）、RGB（デジタル）、RGB（HDCP）
の信号を選択しているとき、以下のメニューは調整できません。
「色の濃さ」「色合い」「画質」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」

各種セッティング

各種セッティング

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを設定する項目のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、ハンガール語、日本語の12か国語の中から選べます。



ランプモード

ノーマルモード、オート、エコモードの選択ができます。エコモードは、ランプの消費電力を抑えることができます。



明るい表示・・・ノーマルモード



明るい表示に「A」・・・オート



上部がグレーの表示・・・エコモード

- ※ ポイントボタン右で → → の順に表示が切り換わります。
- ※ 「AUTO (オート)」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。
- ※ エコモードの明るさは、ノーマルモードの約80%です。
- ※ 工場出荷時は「オート」に設定されています。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

リセット・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。

- ※ キーストーン調整の詳細は、28ページをご覧ください。



アスペクトV

垂直のスケールおよび位置を調整します。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

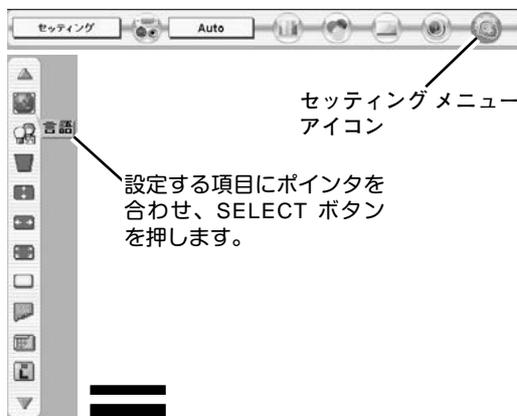
メモリー・・・調整した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

リセット・・・調整した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。もう一度 SELECT ボタンを押すと、アスペクトV 調整モードに入ります。

左右キーでポイントボタンを移動し、スケール、ポジションの調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

- ※注
アスペクトVを調整した後、キーストーン調整を行なうと、調整した内容がリセットされ標準に戻ります。アスペクトVの調整はキーストーン調整の後に行なってください。

セッティングメニュー



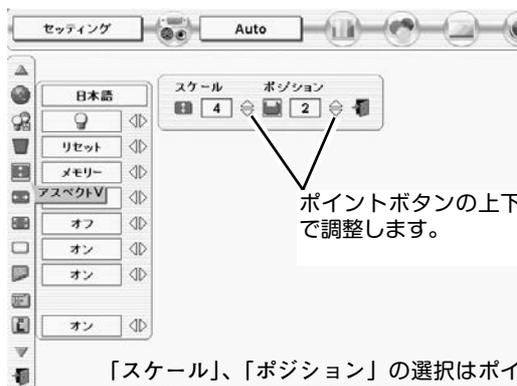
セッティングメニューアイコン

設定する項目にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



選択したい項目にポインタを合わせ、ポイントボタンの左右で設定します。



ポイントボタンの上下で調整します。

「スケール」、「ポジション」の選択はポイントボタンの左右で行ないます。

←→ アスペクトH

水平のスケールおよび位置を調整します。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・調整した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。
リセット・・・調整した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。
もう一度 SELECT ボタンを押すと、アスペクトH 調整モードに入ります。

左右キーでポイントボタンを移動し、スケール、ポジションの調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

***注**
アスペクトHを調整した後、キーストーン調整を行なうと、調整した内容がリセットされ標準に戻ります。アスペクトHの調整はキーストーン調整の後に行なってください。

4:3 アナモフィック

この機能を「オン」にすると入力信号が 4:3 の画面以外でも、強制的に 4:3 の画面で投映されます。

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面にする機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。
オン・・・すべての画面表示を出します。
オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。
・メニューバー表示 (24 ページ参照)
・電源を切るときの「もう一度押すと電源が切れます」の表示
・P-TIMER表示 (30 ページ参照)
・自動PC調整時に「しばらくお待ちください」の表示
・パワーマネージメント時のタイマー表示 (48 ページ参照)

メニュー位置

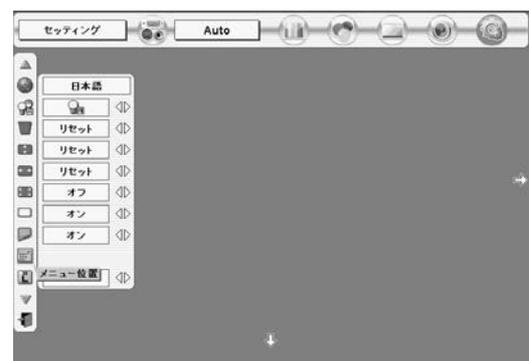
メニューが表示される位置を調整する機能です。ポイントボタン右・下でお好みの位置に表示させることができます。

30 ログ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。



表示画面



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに使います。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに使います。

パワーマネジメント

パワーマネジメント機能の動作設定を行ないます。
 オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。
 待機・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

シャットダウン・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

●タイマーの設定●
 ポイントボタンの左右でパワーマネジメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30 分の範囲で設定できます。パワーマネジメント動作の詳細は26 ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンや操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

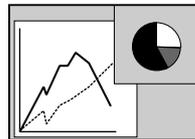
オン・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

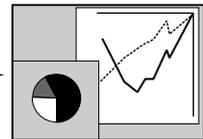
※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

天吊り機能

オフ (通常の画像)

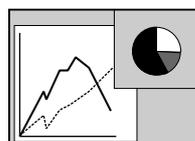


オン (天吊り設定時)

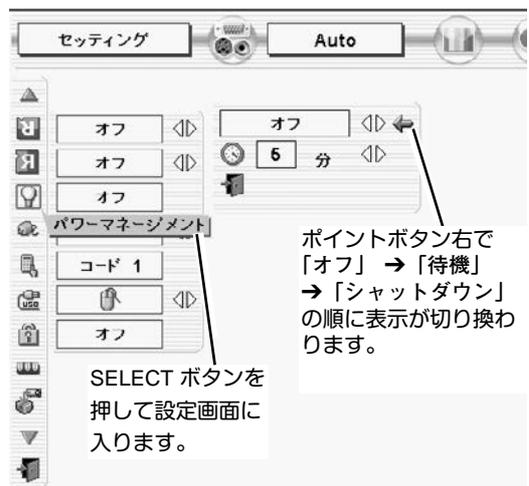
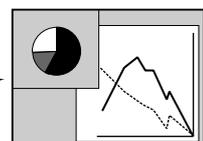


リア投映機能

オフ (通常の画像)



オン (リア投映設定時)

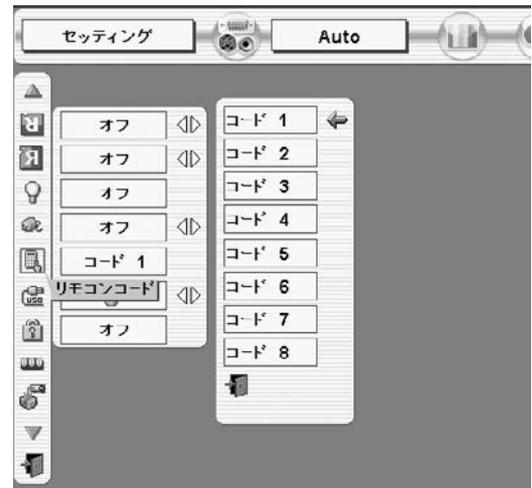


入力信号なし
04:50

↑
ランプ消灯までの時間

リモコンコード

本機は 8種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されています。リモコンコードを他のコード（「コード 2」～「コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り替えは、リモコンの電池カバー内にあるディップスイッチで行ないます。（21ページ「ディップスイッチの設定」参照）



USB

本機の USB 端子にコンピュータの USB 端子を接続し、コンピュータと連結してプロジェクターを使用するときの USB 端子の機能選択を行ないます。ポイントボタンで機能の選択を行ないます。

- 
 ... 本機のリモコンをコンピュータのマウスとして使用するときに選択します。
 - 
 ... USB 端子をプロジェクターの制御などに使用するときを選択します。
- この機能は将来のために設けられているものです。
現時点ではご使用になれません。

※ 工場出荷時は「マウス」に設定されています。



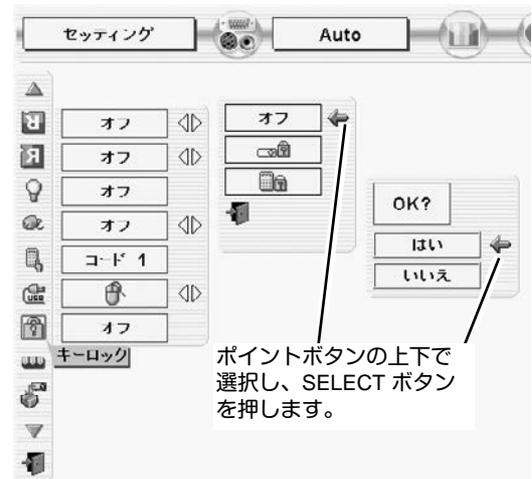
キーロック

操作ボタンのロックを行ない、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。

- 
 ... 操作パネルからの操作をロックします。
 - 
 ... リモコンの操作をロックします。
- オフ ... キーロックを解除します。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 操作パネルをロックしてしまい、手元にリモコンがないときは、一度電源コードを抜いて、「SELECT」ボタンを押しながら、電源コードをさすと、キーロックが解除されます。



ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(黄)の点灯が消えます。



注意

光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 電源を入れます。MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

初期設定

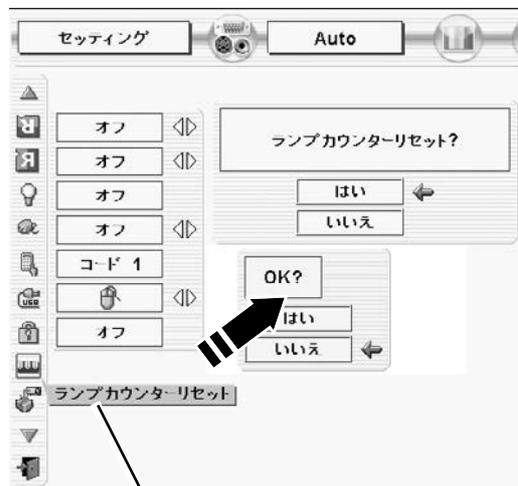
ランプカウンター（点灯時間）以外の設定を工場出荷状態に戻します。

※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。

●ご注意●

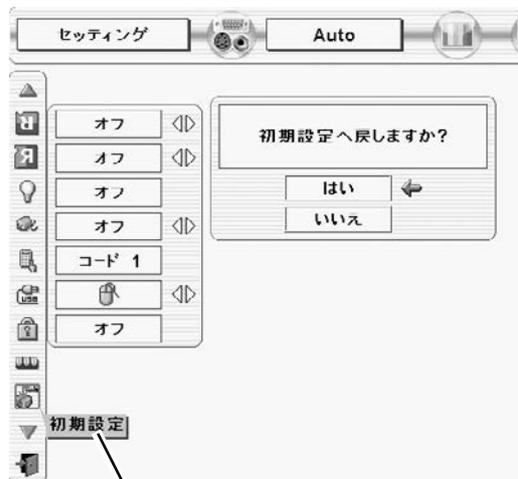
この設定が実行されると、お客さまが設定されていた内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

ランプカウンターリセット



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の表示が現われます。

初期設定



「初期設定」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現われます。

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。コンピュータマウスの代わりにリモコンでポインタを操作することができます。

準備をしてください

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するには、マウスドライバが必要です。お使いのコンピュータにマウスドライバがインストールされていることを確認してください。

また、はじめにコンピュータの環境設定でマウスポート^{※注1}が、マウスコントロールケーブル（付属または別売）を接続するポートに設定してあることを確認してください。

- 1 付属または別売のマウスコントロールケーブルで、コンピュータのマウスポート（または USB ケーブル）と、本機の CONTROL PORT 端子（または USB 端子）を接続します。^{※注2}（18ページ参照）
- 2 マウスコントロールケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。先にコンピュータの電源を立ち上げると正しく動作しない場合があります。

※注1：マウスポートは、コンピュータのマウスを接続する端子です。設定のしかたは、お使いになるコンピュータの説明書を参照してください。

※注2：一部のコンピュータでマウスポートのないものは、シリアル用マウスコントロールケーブルを使ってシリアルポートに接続します。

USB端子付きのコンピュータで USBマウスをお使いの場合は、付属の USBケーブルでコンピュータと本機のUSB端子を接続します。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、リモコンの「ポイントボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

ポイントボタン

マウスポインタの移動を行ないます。ポイントボタンの上下左右を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリック ボタン

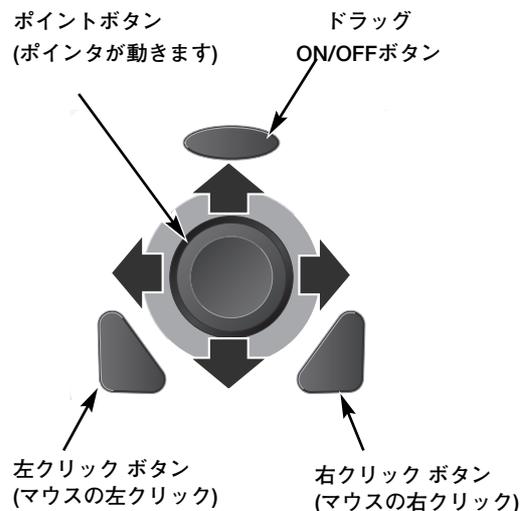
コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。ドラッグするときは、このボタンを押したままポイントボタンで移動させます。

右クリック ボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

ドラッグ ON / OFF ボタン

ドラッグしたい画像にマウスポインタをあわせ、ドラッグ ON / OFF ボタンを押します。（ドラッグオンインジケータが緑で点灯し、ドラッグ機能が ON の状態になります。）ポイントボタンを使って、画像を移動させます。再度ドラッグ ON / OFF ボタンを押すか、他のボタンを押してドラッグ機能を解除します。



光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

LAMP REPLACE インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。LAMP REPLACE インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON」（入）のときに点灯します。なお LAMP REPLACE インジケータが点灯する前にランプの寿命が尽きる場合もあります。

光源ランプの交換のしかた

ランプを交換するときは必ず指定の交換ランプをご使用ください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：POA-LMP67（サービス部品コード：610 306 5977）
- ・プロジェクターの品番：LP-XP55

注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上冷却してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

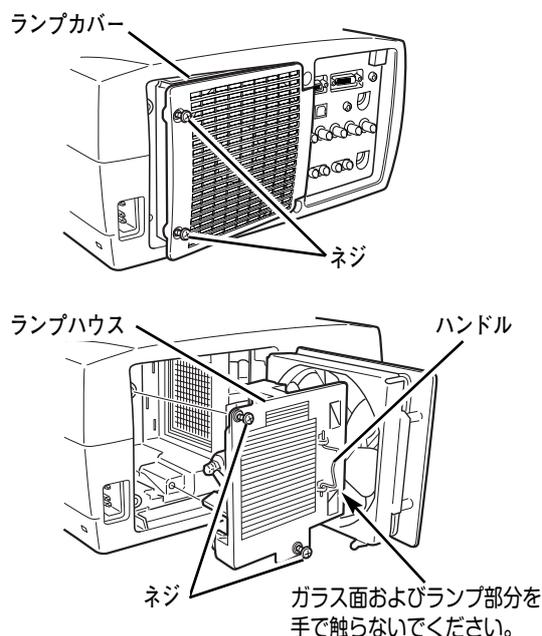
- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上冷却してください。
- 2 (+)ドライバーで2本ネジをゆるめて、ランプカバーを開けます。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを閉め、ネジを締めて固定します。

- ※ ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、注意してお取り扱いください。
- ※ 使用済みランプの再利用はランプ破裂の原因となりますのでおやめください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ（黄）の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、50ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。



⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズカバーをはめ、ダストカバーをかぶせて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 次ページを参照）

エアフィルターはこまめに掃除してください

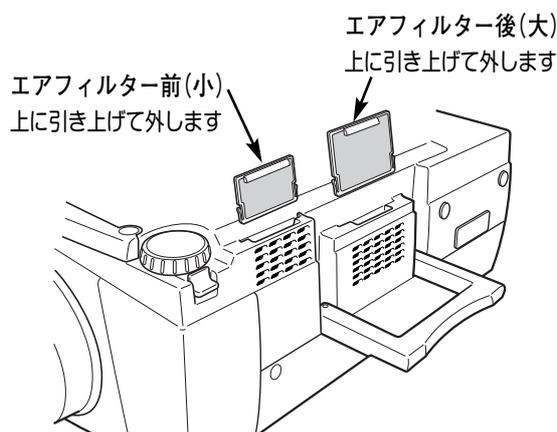
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターを上に取り上げ外します。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシで取ります。
- 4 エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルター（別売）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用 エアフィルター前（小） の品番： 610 303 8780

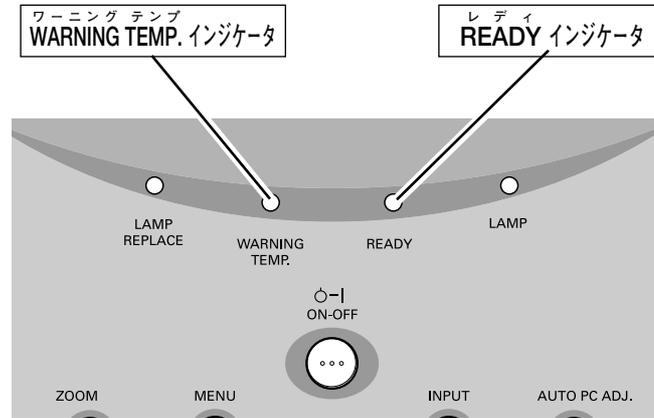
取り替え用 エアフィルター後（大） の品番： 610 303 8773



●お掃除の際にご注意ください●

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING TEMP.インジケータ (赤) が点滅を始め内部温度が高くなっていることをお知らせします。さらに温度が高くなるとプロジェクター保護のために自動的に電源が切れ、READY インジケータが消えます。(WARNING TEMP.は点滅を続けます。) 温度が下がると READY インジケータが点灯し、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンで電源を入れることができます。電源を入れるとWARNING TEMP.の点滅が消えます。WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

WARNING TEMP. インジケータが点滅しているとき、ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。フィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP.と READY インジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンでの電源入り切りはできなくなります。このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直し、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検を取扱販売店、またはサービス会社にご依頼ください。電源コードをコンセントに接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP REPLACE 黄	WARNING TEMP. 赤	READY 緑	LAMP 赤	
●	●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
※	●	○	○	プロジェクターはスタンバイ状態です。電源ボタンを押すと動作します。
※	●	○	●	プロジェクターは正常に動作しています。
※	○ [⋮]	●	○	プロジェクターの内部温度が高くなると、WARNING TEMP. が点滅を始めます。さらに温度が高くなると READY インジケータが消え、自動的に電源が切れ、電源が入らなくなります。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、READY インジケータが点灯し、電源が入れられます。 (WARNING TEMP. は点滅したままです。) エアフィルターの点検などを行なってください。
※	○ [⋮]	○	○	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。電源ボタンを押すと、WARNING TEMP.の点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
※	●	●	○	ランプの冷却中です。READY インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
※	○ [⋮]	○ [⋮]	○	プロジェクターの内部に異常が検出されました。電源ボタンを入れても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したまま放置しないでください。火災や感電の原因となります。
※	●	○ [⋮]	●	パワーマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ……点灯 ○[⋮] ……点滅 ● ……暗く点灯 ● ……消灯

※ ……LAMP REPLACE が点灯するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(50ページ参照)

故障かなと思ったら

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● ON-OFF ボタンを再度押してみてください。 ● READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。(25、26 ページ参照) ● WARNING TEMP. インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。温度が下がるまでお待ち下さい。 WARNING TEMP. インジケータ<赤>及びREADY インジケータ<緑>が点滅しているときは内部の故障が考えられます。(56 ページ参照) ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンのON-OFF ボタンを押してみてください。(49ページ参照)
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(17~19 ページ参照) ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(25ページ参照) ● レンズカバーをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(33、40 ページ参照) ● 使用温度範囲 (5℃~35℃) からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(17~19 ページ参照) ● 音量が最小になっていませんか。VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。MUTE ボタンを押すか、VOLUME + ボタンを押してみてください。
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(27ページ参照) ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(12ページ参照) ● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ(あおり)ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(13ページ参照) ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。(15ページ参照) ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。(15ページ参照) ● 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(16ページ参照) ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。(15ページ参照) ● リモコンの ALL OFF スイッチが、「ALL OFF」側になっていませんか。「ON」側にして操作してください。(20ページ参照) ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。(21、49ページ参照) ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。(49ページ参照)
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● マウスコントロールケーブルは正しく接続されていますか。(18ページ参照) ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。(51ページ参照) ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません。)
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 12	1024 x 768	35.522	^{86.96} (インターレース)
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
480p	640 x 480	31.47	59.88	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
575p	768 x 575	31.25	50.00	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
575i	————	15.625	^{50.00} (インターレース)	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
480i	————	15.734	^{60.00} (インターレース)	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	^{86.00} (インターレース)
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	^{94.00} (インターレース)
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	^{86.70} (インターレース)
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	SXGA 21	1400 x 1050	63.90	60.00
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	MAC	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	720p (HDTV)	————	45.00	60.00
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	1035i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	1080i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 9	1024 x 768	36.00	^{87.17} (インターレース)	1080i (HDTV)	————	28.125	^{50.00} (インターレース)

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ SXGA、Mac21、Mac、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) の信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ ドットクロックが 180MHz 以上のコンピュータの信号には対応していません。

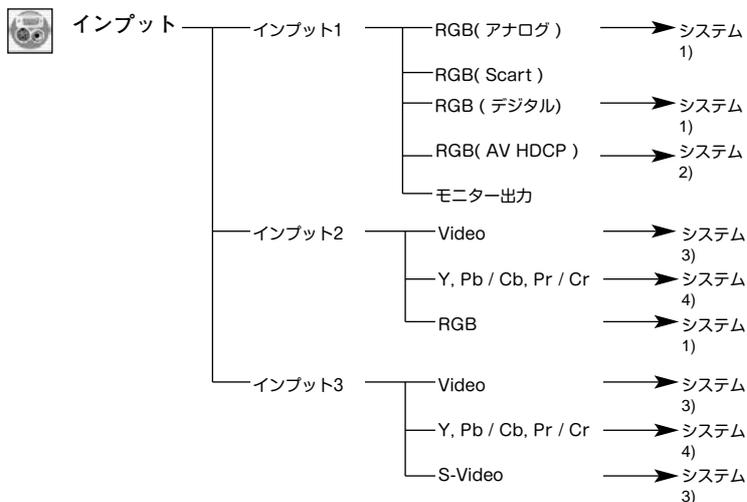
コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	D-SXGA2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-480p	720 x 480	31.47	59.88	D-SXGA3	1280 x 1024	31.65	29.80
D-575p	768 x 575	31.25	50.00	D-720p	1280 x 720	45.00	60.00
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	D-1035i	1920 x 1035	33.75	60.00 (インターレース)
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-1080i	1920 x 1080	33.75	60.00 (インターレース)
D-SXGA1	1280 x 1024	63.98	60.02	D-1080i	1920 x 1080	28.125	60.00 (インターレース)

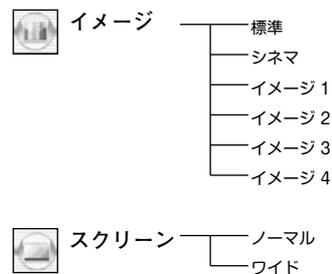
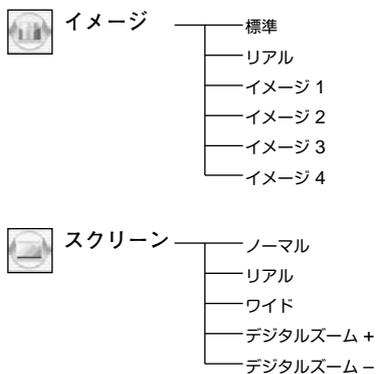
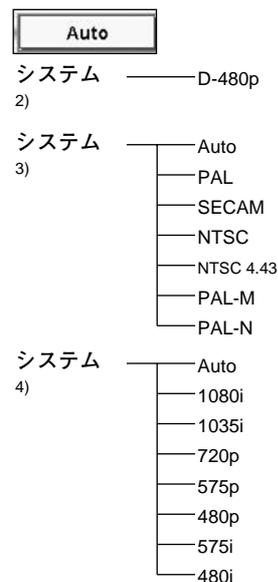
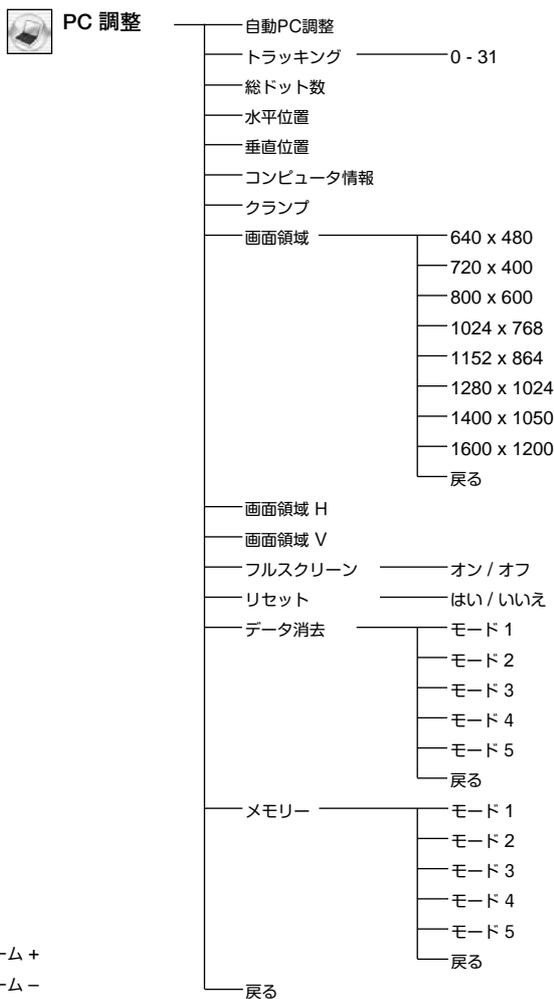
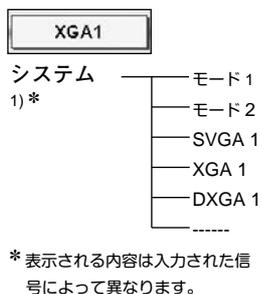
※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

メニュー内容一覧



コンピュータ入力

ビデオ入力





セッティング

- 言語
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - スウェーデン語
 - ロシア語
 - 中国語
 - ハンガール語
 - 日本語
 - 戻る
- ランプモード ——— ノーマル/オート/エコ
- キーストーン ——— メモリー/リセット
- アスペクト V ——— メモリー/リセット
 - スケール
 - ポジション
- アスペクト H ——— メモリー/リセット
 - スケール
 - ポジション
- アナモフィック ——— オン / オフ
- ブルーバック ——— オン / オフ
- オンスクリーン表示 ——— オン / オフ
- メニュー位置
- ロゴ ——— オン / オフ
- 天吊り ——— オン / オフ
- リア投映 ——— オン / オフ
- パワーマネージメント ——— オフ / 待機 / シャットダウン
- オンスタート ——— オン / オフ
- リモコンコード
 - コード 1
 - コード 2
 - コード 3
 - コード 4
 - コード 5
 - コード 6
 - コード 7
 - コード 8
 - 戻る
- USB
 - マウス
 - プロジェクター
- キーロック
 - オフ
 - 操作パネル
 - リモコン
- ランプカウンターリセット ——— はい / いいえ
- 初期設定 ——— はい / いいえ



イメージ調整

- コントラスト ——— 0 - 63
- 明るさ ——— 0 - 63
- 色の濃さ ——— 0 - 63
- 色合い ——— 0 - 63
- カラーマネージメント
 - 自動画質補正 ——— オフ / L1 / L2
 - 色温度 ——— 超低/低/中/高
 - 赤 ——— 0 - 63
 - 緑 ——— 0 - 63
 - 青 ——— 0 - 63
 - 画質 ——— 0 - 31
 - ガンマ補正 ——— 0 - 15
 - ノイズリダクション ——— オン / オフ
 - プログレッシブ ——— オフ / L1 / L2
 - リセット ——— はい / いいえ
 - メモリー
 - イメージ 1
 - イメージ 2
 - イメージ 3
 - イメージ 4
 - 戻る
- 戻る



サウンド

- 音量 ——— 0 - 63
- スピーカ ——— オン / オフ
- 消音 ——— オン / オフ
- 戻る

**メニュー内の調整値は、実際と異なる場合があります。

仕 様

プロジェクター本体

種 類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：1.3型 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：2,359,296 画素 { 786,432（横1024 × 縦768）×3 }
水平解像度	800 TV本 (HDTV)
投射レンズ	1.3倍ズームレンズ F=1.7 ~ 2.0 f=48.2 ~ 62.6mm
光源ランプ	高輝度 300W NSHランプ
ズーム/フォーカス調整	電動式
入出力 コンピュータ	DVI入力 (1系統)：DVI-D コネクター (24ピン) デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB入出力 (入力2系統・出力1系統)：ミニD-sub 15ピン、BNC x 5ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)
ビ デ オ	ビデオ入力 (2系統) 映像/Y：BNC コネクター、ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb：BNC コネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Pr：BNC コネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C：0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω
音 声	音声入力 (2系統)：ミニジャック (ステレオ)、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 音声入力：ピンジャック、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 (左モノ：右) 音声モニター出力 (コンピュータ / ビデオ兼用)：ミニジャック (ステレオ)、可変出力、 インピーダンス1KΩ以下
制御入出力、他	コントロールポート：ミニDIN 8ピン USB端子：USBコネクター、シリーズ B、シングルポート ワイヤードリモコン端子：ミニジャック PJ-Net Organizer コネクター
走査周波数	水平 15~100KHz、垂直 50~100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
音声実用最大出力	ステレオ 2W + 2W (JEITA)
スピーカ	5 x 5 cm 円形 2個
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	450W (待機中消費電力 15W)
本体寸法	幅319×高さ168×奥行429.5 mm (突起部含まず)
質 量	9.2Kg

※ JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当りの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

※ HDCPとは、High-bandwidth Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投射することができます。HDCPの規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-D端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99%以上です。投映中 0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電 源	DC3.0V 単3型アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約 5m (受信部正面)
本体寸法	幅 50×高さ 36×奥行 193 mm
質 量	160g (乾電池を含む)
レーザーポインタレーザー出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波 長：650±20 nm

付属品

- リモコン 1個
- リモコン用 アルカリ乾電池 (単3型) 2本
- リモコン接続コード 1本
- 電源コード 1本
- コンピュータ接続ケーブル (DOS / V 用) 1本
- USB ケーブル 1本
- マウス コントロール ケーブル 1本 (シリアル用)
- 取扱説明書
- レンズ交換・取り付け作業手順書
- 保証書
- ユーザー登録カード (はがき)
- レンズカバー 1個
- ダストカバー 1枚

別売品

- DVI用コンピュータ接続ケーブル (2m) 品番：KA-DV20
- 固定・短焦点レンズ 品番：LNS-W32
- 短焦点ズームレンズ 品番：LNS-W31A
- 長焦点ズームレンズ 品番：LNS-T31A
- 超長焦点ズームレンズ 品番：LNS-T32
- PJ-Net Organizer 品番：POA-PN02

●レンズ交換について●

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。

レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

●販売技術員・サービス技術員の方へ●

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行ってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

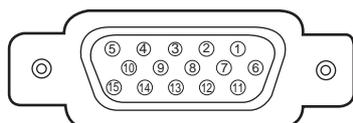
- ※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
- ※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- ※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

ANALOG IN / OUT (コンピュータ DOS/V 入力端子 / モニター出力端子)

コンピュータからのアナログ (RGB) 入力の端子として、またモニター出力端子としてはたります。接続には、DOS/V用コンピュータ接続ケーブル (付属) をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

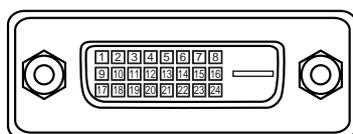


1	R	9	未接続
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

DIGITAL DVI-D TERMINAL (コンピュータ DVI-D 入力端子)

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力を接続する端子です。接続には、DVI用コンピュータ接続ケーブル (別売) または、付属のDOS/V用コンピュータ接続ケーブルに付属のDVI/D-Sub変換アダプタを接続し、ご使用ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

DVI 24ピン

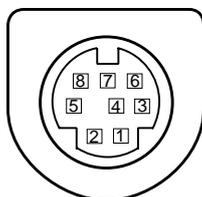


1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	未接続	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック-

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

接続したコンピュータのマウス操作を本機のリモコンで行なうときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート (PS/2ポート、シリアルポート、または マウスポート) を付属または別売のマウスコントロールケーブルで接続します。

ミニ DIN 8ピン

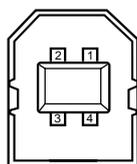


	マウスコントロールケーブルの種類		
	PS/2 (別売)	シリアル (付属)	Mac (別売)
1	----	R X D	----
2	CLK	----	ADB
3	DATA	----	----
4	GND	GND	GND
5	----	RTS / CTS	----
6	----	T X D	----
7	GND	GND	----
8	----	GND	GND

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。また、マウスコントロールポート端子としても使用します。

USB コネクター (シリーズ B)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は <総合相談窓口> 三洋電機(株) お客さまセンター

受付時間：9：00～18：30

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| ◆北海道地区 札幌 ☎(011)290-1522 | ◆近畿・四国地区 大阪 ☎(06)6994-9570 |
| ◆東北地区 仙台 ☎(022)714-6137 | ◆中国地区 広島 ☎(082)297-6067 |
| ◆関東地区 東京 ☎(03)3815-1111 | ◆九州・沖縄地区 福岡 ☎(092)263-7629 |
| ◆中部・北陸地区 名古屋 ☎(052)533-5245 | |

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機(株)お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06)6994-9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は、変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は <修理相談窓口> 三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～金曜日 [9：00～18：30]

土曜・日曜・祝日 [9：00～17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

- | |
|------------------------------|
| 東日本コールセンター 東京 ☎(03)5302-3401 |
| 西日本コールセンター 大阪 ☎(06)4250-8400 |

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

- | |
|--------------------------|
| ◆北海道地区 札幌 ☎(011)833-7888 |
| ◆東北地区 仙台 ☎(022)382-2213 |
| ◆長野地区 長野 ☎(0263)26-1772 |
| ◆新潟地区 新潟 ☎(025)285-2451 |
| ◆福島地区 福島 ☎(024)945-6811 |

西日本コールセンターへの転送電話番号

- | |
|--------------------------|
| ◆北陸地区 金沢 ☎(076)237-6650 |
| ◆東海地区 名古屋 ☎(052)979-3456 |
| ◆中国地区 広島 ☎(082)293-9333 |
| ◆四国地区 高松 ☎(087)844-8321 |
| ◆九州地区 福岡 ☎(092)922-9311 |

- | |
|-------------------------|
| ◆沖縄地区 沖縄 (098) 944-5018 |
|-------------------------|

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9：00～12：00、13：00～17：30]

※「持込修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）9：00～17：30

北海道地区	関東地区	近畿地区
北海道 札幌 ☎ (011) 831-9201 〒003-0013 札幌市白石区中央三条4-1-36 函館 ☎ (0138) 48-8301 〒041-0824 函館市西栢根町589-295 苫小牧 ☎ (0144) 33-3421 〒053-0042 苫小牧市三光町2-2-5 旭川 ☎ (0166) 22-2421 〒070-0073 旭川市曙北3条7-3-3 北見 ☎ (0157) 23-4871 〒090-0037 北見市山下町4-7-14 釧路 ☎ (0154) 22-1576 〒085-0021 釧路市浪花町7-7	神奈川県 戸塚 ☎ (045) 827-2831 〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14 相模原 ☎ (042) 742-2272 〒228-0805 相模原市豊町17-11 平塚 ☎ (0463) 55-3926 〒254-0014 平塚市四之宮3-20-63 千葉県 千葉 ☎ (043) 241-7311 〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20 鎌ヶ谷 ☎ (047) 441-0111 〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59 山梨県 山梨 ☎ (055) 226-2561 〒400-0035 甲府市飯田4-8-23	近畿地区 阪神 ☎ (06) 6432-3401 〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6 姫路 ☎ (0792) 96-2141 〒670-0981 姫路市西庄字八町108 淡路 ☎ (0799) 22-2702 〒656-0101 洲本市納字横竹308-1
東北地区	中部地区	中国地区
宮城県 仙台 ☎ (022) 384-0444 〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8 青森県 青森 ☎ (017) 729-3401 〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5 八戸 ☎ (0178) 28-9225 〒039-1103 八戸市長曲代字観音堂50-5 岩手県 盛岡 ☎ (019) 635-0136 〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6 水沢 ☎ (0197) 23-6621 〒023-0003 水沢市佐倉河字羽黒田45 山形県 山形 ☎ (023) 641-1769 〒990-2432 山形市荒橋町1-21-30 酒田 ☎ (0234) 23-3817 〒998-0842 酒田市亀ヶ崎6-7-16 秋田県 秋田 ☎ (018) 862-6551 〒010-0925 秋田市旭南3-2-67 福島県 郡山 ☎ (024) 945-6793 〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7	愛知県 名古屋 ☎ (052) 979-3455 〒461-0011 名古屋市長白壁5-41 岡崎 ☎ (0564) 23-3418 〒444-0065 岡崎市柿町1-2 岐阜県 岐阜 ☎ (058) 246-3417 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35 静岡県 静岡 ☎ (054) 261-4151 〒420-0813 静岡市長沼885 沼津 ☎ (055) 963-1000 〒410-0861 沼津市真砂町3-1 浜松 ☎ (053) 461-8685 〒435-0016 浜松市和田町795-2 長野県 松本 ☎ (0263) 26-1107 〒390-0835 松本市高宮東1-35 長野 ☎ (026) 299-9501 〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2 石川県 金沢 ☎ (076) 237-7811 〒920-0062 金沢市割出町627 富山県 富山 ☎ (076) 422-7020 〒939-8211 富山市二口町1-13-8 福井県 福井 ☎ (0776) 22-6082 〒918-8231 福井市問屋町1-17 三重県 三重 ☎ (059) 228-8126 〒514-0838 津市岩田町10-3	広島県 広島 ☎ (082) 293-6511 〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5 福山 ☎ (084) 925-3455 〒720-0077 福山市南本庄3-1-48 岡山県 岡山 ☎ (086) 245-1634 〒700-0973 岡山市下中野703-101 津山 ☎ (0868) 22-6133 〒708-0002 津山市上河原239-10 鳥取県 鳥取 ☎ (0857) 24-2930 〒680-0843 鳥取市南吉方3-107 島根県 浜田 ☎ (0855) 22-7883 〒697-0023 浜田市長沢町3049 松江 ☎ (0852) 23-1183 〒690-0017 松江市西津田4-1-14 山口県 山口 ☎ (083) 973-3391 〒754-0024 山口県吉敷郡小郡町若草町2-6
関東・甲信越地区	近畿地区	四国地区
埼玉県 さいたま ☎ (048) 664-2319 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30 坂戸 ☎ (049) 284-8900 〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17 栃木県 栃木 ☎ (028) 653-2811 〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12 茨城県 茨城 ☎ (0298) 64-4751 〒300-3261 つくば市花畑2-15-3 水戸 ☎ (029) 251-4125 〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1 群馬県 群馬 ☎ (027) 362-1151 〒370-0001 高崎市中央町池の内441 西関東 ☎ (0276) 22-7702 〒373-0015 太田市東新町72-2 新潟県 新潟 ☎ (025) 285-2431 〒950-0971 新潟市近江244 長岡 ☎ (0258) 24-0705 〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46 上越 ☎ (0255) 43-3535 〒942-0074 上越市石橋2-2-9 東京都 城東 ☎ (03) 3607-3191 〒125-0051 葛飾区新橋4-10-15 城北 ☎ (03) 3958-1261 〒173-0021 板橋区弥生町72-5 城西 ☎ (03) 3376-3361 〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13 武蔵野 ☎ (042) 364-7721 〒183-0045 府中市美好町2-3-1	大阪府 大阪 ☎ (06) 6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13 大阪南 ☎ (06) 6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F 大阪東 ☎ (0729) 65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29 阪和 ☎ (072) 221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16 京都府 京都 ☎ (075) 672-0877 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41 三丹 ☎ (0773) 27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66 奈良県 奈良 ☎ (0744) 22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31 滋賀県 滋賀 ☎ (077) 545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5 和歌山県 和歌山 ☎ (073) 436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369 田辺 ☎ (0739) 22-7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318 兵庫県 神戸 ☎ (078) 651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11	愛媛県 愛媛 ☎ (089) 971-3342 〒791-8036 松山市高岡町148-1 宇和島 ☎ (0895) 27-1818 〒798-0077 宇和島市保田甲934-3 香川県 香川 ☎ (087) 843-1840 〒761-0104 高松市高松町2175-10 高知県 高知 ☎ (088) 860-0229 〒781-5106 高知市介良乙1044 徳島県 徳島 ☎ (088) 699-4131 〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2
九州地区	九州地区	九州地区
福岡県 福岡 ☎ (092) 928-3414 〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1 北九州 ☎ (093) 521-5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28 中九州 ☎ (0942) 21-3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2 長崎県 長崎 ☎ (095) 824-5628 〒850-0012 長崎市本河内3-21-43 佐世保 ☎ (0956) 31-7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17-1 熊本県 熊本 ☎ (096) 357-1122 〒861-4106 熊本市南高江町3-2-88 八代 ☎ (0965) 35-3483 〒866-0871 八代市田中東町12-7 大分県 大分 ☎ (097) 543-3454 〒870-0822 大分市大道町3-4-32 宮崎県 宮崎 ☎ (0985) 29-3441 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883 鹿児島県 鹿児島 ☎ (099) 251-4615 〒890-0068 鹿児島市東都元町11-10	福岡県 福岡 ☎ (092) 928-3414 〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1 北九州 ☎ (093) 521-5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28 中九州 ☎ (0942) 21-3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2 長崎県 長崎 ☎ (095) 824-5628 〒850-0012 長崎市本河内3-21-43 佐世保 ☎ (0956) 31-7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17-1 熊本県 熊本 ☎ (096) 357-1122 〒861-4106 熊本市南高江町3-2-88 八代 ☎ (0965) 35-3483 〒866-0871 八代市田中東町12-7 大分県 大分 ☎ (097) 543-3454 〒870-0822 大分市大道町3-4-32 宮崎県 宮崎 ☎ (0985) 29-3441 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883 鹿児島県 鹿児島 ☎ (099) 251-4615 〒890-0068 鹿児島市東都元町11-10	九州地区 福岡県 ☎ (092) 928-3414 〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1 北九州 ☎ (093) 521-5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28 中九州 ☎ (0942) 21-3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2 長崎県 長崎 ☎ (095) 824-5628 〒850-0012 長崎市本河内3-21-43 佐世保 ☎ (0956) 31-7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17-1 熊本県 熊本 ☎ (096) 357-1122 〒861-4106 熊本市南高江町3-2-88 八代 ☎ (0965) 35-3483 〒866-0871 八代市田中東町12-7 大分県 大分 ☎ (097) 543-3454 〒870-0822 大分市大道町3-4-32 宮崎県 宮崎 ☎ (0985) 29-3441 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883 鹿児島県 鹿児島 ☎ (099) 251-4615 〒890-0068 鹿児島市東都元町11-10
沖縄地区	沖縄地区	沖縄地区
沖縄県 沖縄 ☎ (098) 944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部	沖縄地区 沖縄 ☎ (098) 944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部	沖縄地区 沖縄 ☎ (098) 944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

(300704D)

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

58ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグははずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番	LP-XP55
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVソリューションズカンパニー
プロジェクタービジネスユニット 事業推進部
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町1 - 1